

市町村合併による広域スポーツ空間の再構築  
に関する基礎研究

課題番号 18500501

平成 18 年度～19 年度科学研究補助金  
(基盤研究 (C)) 研究成果報告書

平成 20 年 3 月

研究代表者 服 部 宏 治  
広島国際大学 保健医療学部 准教授

## はしがき

本報告書は、平成 18 年度から 19 年度にわたって日本学術振興会科学研究費補助金制度の適応を受けて行った研究成果をまとめたものである。

いわゆる「平成の大合併」は、総務省によると 1999 年（平成 11 年）に全国に 3,232 あった市町村の数を 2006 年（平成 18 年）4 月には 1,820 にまで減少させた。この全国的な市町村の再編政策は、行政サイドからすると行政サービスの広域化、行財政の効率化、広域的な地域づくり等を目指した反面、住民サイドからは行政サービスの低下、税等の住民負担の増大、少数意見の切捨てなど、一方で生活に直結する不安を抱かせる結果となった。

これら地域住民の日々の暮らしに大きく影響を及ぼすと考えられる今回の市町村合併は、そこでの生活を基盤とするコミュニティの役割・機能がこれまで以上に重視されることを意味すると同時に、そこに暮らす住民が地域づくりのマネジメントに積極的に参画する「公民協働型」の地域づくりにコミットするいい機会であるともいえる。

一方、地域で展開されているスポーツ活動は、そこに暮らす住民の生活の「質」をより豊かにするために必要なものとして定着している。市町村合併による地域の再編は、そこで活動しているスポーツ団体や組織への再編や活動内容や範囲等の再検討も要求されることを意味しているが、合併による地域構造の変化がスポーツ環境の再編にまで及んでないのが現実である。

本研究では、合併によって広域化するコミュニティ再編の中でのスポーツ環境構築のための諸課題を明らかにし、「公民協働型」の広域スポーツ環境を作り上げていくための基礎資料を得ることにある。

調査は、1991 年（平成 11 年）4 月から 2005 年（平成 17 年）4 月 1 日までに合併した全国の合併市町村地域 294 ヶ所の各教育委員会（体育指導委員協議会担当部署）に体育指導委員の方々への調査票を依頼し、回答して頂いた。幸いにも全国 39 の都道府県 186 ヶ所から 4,000 名を越える回答を頂いた。本報告が、これからの広域化する地域スポーツ環境の発展にとって多少なりともお役に立てれば幸いである。

最後に本研究を進めるにあたり、調査にご協力いただいた体育指導委員の方々、事務局の皆様方に心より感謝申し上げます。

平成 20 年 3 月

服部宏治

## 研究組織

- 研究代表者 : 服部宏治 (広島国際大学保健医療学部准教授)  
研究分担者 : 平松 携 (尾道大学経済情報学部教授)  
研究分担者 : 東川安雄 (広島大学大学院教育学研究科准教授)  
研究分担者 : 迫 俊道 (大阪商業大学総合経営学部講師)

## 交付決定額 (配分額)

(金額単位: 千円)

	直接経費	間接経費	合計
平成 18 年度	600	0	600
平成 19 年度	500	150	650
総計	1100	150	1250

## 研究発表

### (1) 雑誌論文

服部宏治 東川安雄 迫 俊道 平松 携 浜田雄介「市町村合併による地域再編がスポーツ活動に及ぼす影響についての調査研究」  
—活動範囲とスポーツ環境評価— 自由時間研究 32号 2008  
pp. 11~17

### (2) 学会発表

迫 俊道 服部宏治 浜田雄介「市町村合併による広域スポーツ空間の再構築に関する基礎研究」日本レジャー・レクリエーション学会第37回学会発表 2008年12月1日 東洋大学

# 目 次

はしがき

I. 研究目的	1
II. 研究方法	2
1. 調査方法	
2. 調査対象者の基本的特性及び分析の視点	
III. 結果と考察	
市町村合併に伴う地域スポーツ環境評価	4
ー人口規模別にみたスポーツ環境再構築のための基礎資料ー	
1. スポーツ施設利用状況	
2. 合併前後におけるスポーツ環境満足度	
3. スポーツ施設の使いやすさと費用	
4. スポーツ環境（施設数・利用人数・実施種目・情報・交流）評価	
5. 合併地域への関心	
6. 要約	
IV. 合併形態、活動範囲の違いによる分析	21
1. 市町村合併による広域スポーツ空間の再構築に関する基礎研究 （学会発表資料 一部修正）	
2. 市町村合併による地域再編がスポーツ活動に及ぼす影響 についての調査研究」ー活動範囲とスポーツ環境評価ー （自由時間研究）	
V. 資料	43
1. 単純集計表	
2. 調査票	
3. 自由記述（合併形態別）	

## I. 研究目的

## II. 研究方法

## III. 結果と考察

市町村合併に伴う地域スポーツ環境評価  
—人口規模別にみたスポーツ環境再構築のための基礎資料—

## 1. 研究目的

地方分権一括法（1999年）によって始まった、「平成の大合併」と言われるほどの大規模な今回の市町村合併は、広域化による地方財政効率化、国全体の財政危機、さらには少子高齢化による過疎化への対応策として全国各地で押し進められました。行政サイドからすれば、合併によっていかに効率的にコストを削減し、サービスを維持・向上させていくかがポイントになるところでしょう。しかし、合併以前のそれぞれの地域では、その地域特性に配慮した独自の行政施策が行われている場合も多く、合併した後の自治体や地域が抱える課題は形式的な行政区画の形成だけで解消されるものではないことは明らかです。その一例が、住民が受ける行政サービスの低下、住民の負担増で、これらは、「合併前は施設利用料が無料であったのに今後使用料が必要になると言われた」「合併して税金が大変高くなって非常に困っています」などの声としても伺うことができます。

このように、今回の合併は、地域住民の日常の暮らしにも大きく影響を及ぼすと予想されることから、そこでの生活を基盤とするコミュニティの役割がこれまで以上に重視されるといってよいでしょう。このことは、地域づくりのマネジメントに住民が積極的に参画する「公民協働型」の地域づくりにコミットするいい機会であるともいえます。

一方、地域で展開されるスポーツ活動は、そこに住む住民が各々の健康や体力の向上をめざし、また暮らしを豊かにするために自主的に行うものであり、合併した広域地域が構築するスポーツ環境はそこに暮らす住民の生活の「質」や地域の愛着度にも大きく影響を与えることが考えられます。従って、合併による地域再編は、そこで活動しているスポーツ団体、組織の再編を求めることを意味していますが、現実には合併による地域構造の変化がスポーツ空間の再編にまで及んでいません。それは、合併による広域コミュニティ構築の中での自治体再編論議はなされているものの合併によるスポーツ空間再編・構築に関する論議はこれまで十分なされていなかったことにもよります。

本研究では、合併によって広域化するコミュニティ再編の中でのスポーツ環境構築のための諸課題を明らかにし、「公民協働」型の広域スポーツ環境を作り上げて行くための基礎資料を得ることにあります。またスポーツが単なる運動欲求充足や健康・体力の向上のための手段としてだけでなく、スポーツ活動によってできたコミュニティがスポーツ以外の地域形成（地域や地域間同士の連帯感や

暮らしを変える力)に主体的に貢献する社会的機能を発揮することができるかを明らかにしていきたいと思えます。

スポーツ環境づくりのために各自治体が進めるスポーツ振興施策は比較的住民の参画がしやすいものの一つです。これまで合併によっておこる広域スポーツ環境の再構築に十分な検討がなされてこなかったことによる具体的な現状の把握(合併前、合併後の比較を含める)、並びに今後の方向性を合併地域で日ごろから活動しているスポーツ団体・組織を対象に明らかにしていくことにより、実際に即したこれからの「公民協働型」のスポーツ振興方策を探る可能性を持つものと思えます。

調査に関しては、地域の中には、具体的なスポーツ環境の変化はまだ顕著にあらわれていないところもあり、すぐさま合併による具体的な効果や影響が住民の地域生活やスポーツ環境の変化としてあらわれてこないことも事実です。しかし、合併によって広域化するコミュニティ再編の中でスポーツ環境構築のための諸課題を今明らかにしておくことは、新しい広域スポーツ空間を作り上げていくための貴重な基礎資料になると同時に、これらの資料は中長期的にはこれからの住民に期待されるスポーツ環境づくり、地域づくりの参考として活用されることが期待できます。

## II. 研究方法

### 1. 調査方法

本研究は、平成11年4月から平成17年4月1日までに合併した全国の合併市町村地域294ヶ所から、そこに登録されている体育指導委員の方々を対象に行った質問紙調査のデータ分析に基づいています。調査内容は、合併前後でのスポーツ活動の状況、地域スポーツ環境評価等からなり、各教育委員会(体育指導委員協議会担当部署)宛に本調査の目的、依頼文とともに質問紙を送付しました(平成18年12月)。送付部数は、1箇所につき15~60部で、要望に応じて必要部数を別途郵送しました。実際の調査は担当部署に一任し、年末年始の協議会での実施、または郵送法などで行って頂きました。調査期間は、2006年12月中旬から2007年2月上旬までとしました(諸事情により次年度当初の調査になった地区が1箇所あります)。

調査対象となった体育指導委員の総数は9,575名であり、有効回答数は4,049(有効回収率42.3%)でした。

### 2. 調査対象者の基本的特性及び分析の視点

表1で回答者の性別を見ると男性が7割近くを占めています。年齢は40代~

50代が全体の7割近くを占め、次いで60代（14.6%）、30代（13.3%）と続いています。居住年数は全体の9割以上が10年以上であり、合併による地域におけるスポーツ環境の実施についても十分認識できていると推察されます。

分析は、まず合併による地域の広域化の視点から合併後の人口規模を手がかりにします。人口5万人未満の地域を「小市町村」、5万～10万未満の地域を「小都市」、さらに10万～30万未満の地域を「中都市」、30万以上を「大都市」としました。そして、スポーツ環境を整えるための条件を使いやすさ（利用のしやすさ、手続き、利便性）、費用（使用料）、スポーツ活動の質（クオリティ＝施設選択、実施種目数、他者との交流、イベント開催など）にまとめ、人口規模別にスポーツ環境に対する評価、満足度等についてクロス集計し、統計的検定（ $\chi^2$ 検定）を行いました。（注 各表にある  $p < 0.05$  等の記号は、ある事柄が偶然起こる確率が5%未満であるということを表しています。つまり、表中の%の差は偶然とは考えにくいということになります。 p = probability の頭文字 N.S.=not significant 非有意）

なお、質問紙における評価選択肢は全て5段階評価でしたが、項目によっては、分析上の差がより明確になるよう3段階評価に集約しました。例えば「とても増えた」「少し増えた」「変わらない」「少し減った」「とても減った」は、「とても増えた」「少し増えた」を合わせ「増えた」としています。また、「少し減った」と「とても減った」を合わせ、「減った」とし、「変わらない」を加えた3段階評価で表記しています。

表1 調査対象者の内訳 (%)

全体	性別			居住年数					
		男性	女性	不明	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10年以上	不明
4,049人	N	2771	1261	17	22	89	173	3742	23
	%	68.4	31.1	0.4	0.5	2.2	4.3	92.4	0.6
年齢									
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	不明
N	124	539	1267	1444	593			69	13
%	3.1	13.3	31.3	35.7	14.6			1.7	0.3

表 2 人口規模 N=4049 (%)

小市町村		小都市	中都市		大都市			
1万人未満	1～5万未満	5～10万未満	10～20万未満	20～30万未満	30～40万未満	40～50万未満	50～90万未満	90万以上
0.9	31.2	24.9	22.5	6.7	4.3	4.5	4.0	0.9
32.1		24.9	29.2		13.7			

\*人口規模については、各市町村のインターネット上のホームページ等を参照して作成

### Ⅲ. 結果と考察

#### 市町村合併に伴う地域スポーツ環境評価

#### ー人口規模別にみたスポーツ環境再構築のための基礎資料ー

#### 1. スポーツ施設利用状況

##### (1) 合併前スポーツ施設利用状況

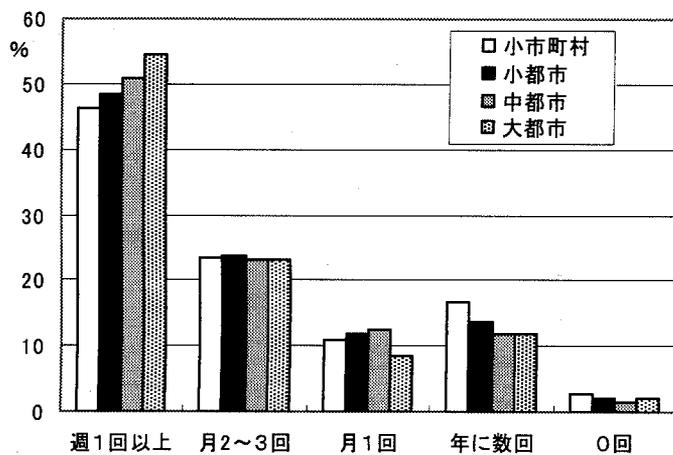


図1 スポーツ施設利用回数(合併前)

図1は合併前にスポーツ施設(公園や野外活動施設を含む)を日頃利用していた回数を示したものです。

全体的には、5割前後の人が週1回以上、スポーツ施設を利用していました。特に、人口規模が大きくなるにつれ、若干「週1回以上」の利用回数は多くなっています。

表1 スポーツ施設利用回数(合併前) %

	週1回以上	月2~3回	月1回	年に数回	0回
小市町村	46.4	23.4	10.9	16.6	2.7
小都市	48.3	23.9	11.9	13.8	2.1
中都市	50.9	23.1	12.4	11.9	1.6
大都市	54.6	23.1	8.4	11.8	2.0

p < 0.05

(2) 合併後スポーツ施設利用状況

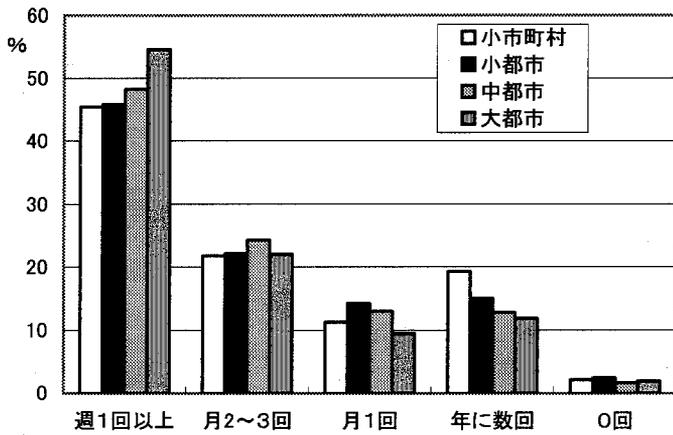


図2 スポーツ施設利用回数(合併後)

図2は、合併後のスポーツ施設利用回数を聞いたものです。やはり、全体的に5割前後の人が、週1回以上スポーツ施設を利用しており、また、人口規模が大きくなるにつれ、週1回以上の利用回数も少し増える傾向にあります。

しかし、合併前と合併後による利用回数の大きな変化はみられませんでした。

表2 スポーツ施設利用回数(合併後) %

	週1回以上	月2~3回	月1回	年に数回	0回
小市町村	45.4	21.8	11.3	19.3	2.2
小都市	45.8	22.2	14.3	15.1	2.5
中都市	48.2	24.3	13	12.8	1.7
大都市	54.6	22.1	9.5	11.9	2.0

p < 0.001

(3) 活動時間

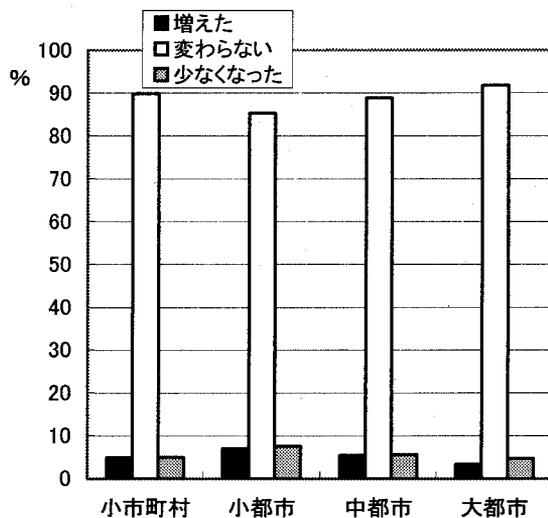


図3 合併後1回活動時間

表3 1回の活動時間 %

	増えた	変わらない	少なくなった
小市町村	5.0	89.9	5.1
小都市	7.1	85.3	7.6
中都市	5.5	88.8	5.7
大都市	3.4	91.8	4.8

N. S.

合併前と比べて、日頃活動している施設で、1回に活動できる時間がどうなったかをみたものが図3になります。

これをみると、全体の9割前後の人が、合併の前と後で、1回の活動時間に大きな変化はないと答えています。前の活動回数、そしてこの1回あたりの活動時間を見る限り、量的にスポーツ活動自体には合併による大きな変化はみられないように思われます。

では、活動の中身ともいべきスポーツの「質」についてはどうなのでしょう。そして、それに対する満足度、評価はどうなっているのでしょうか。

次に少し、具体的に考察していきます。

## 2. 合併前後におけるスポーツ環境満足度

### (1) 小市町村の場合

表1 スポーツ環境満足度(小市町村) %

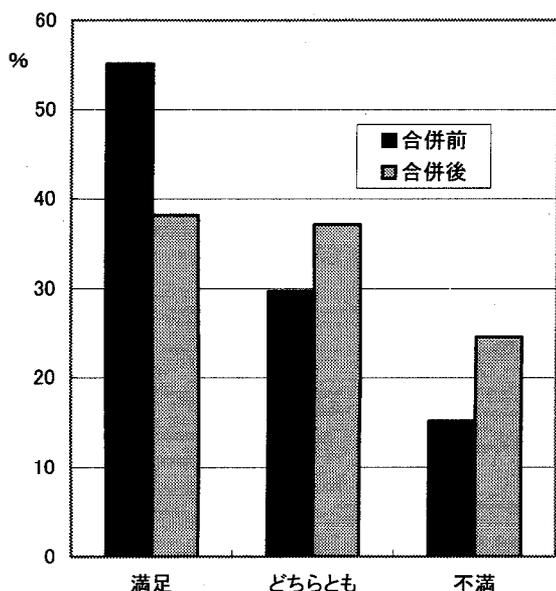


図1 スポーツ環境満足度(小市町村)

	満足	どちらとも	不満
合併前	55.1	29.7	15.2
合併後	38.2	37.1	24.6

小市町村では、合併前のスポーツ環境に「満足」していた者が55.1%であったものが合併後には38.2%にまで減少しています。かわって「不満」と答えた者は合併前で15.2%だったものが合併後には24.6%にまで上昇しています。

(2) 小都市の場合

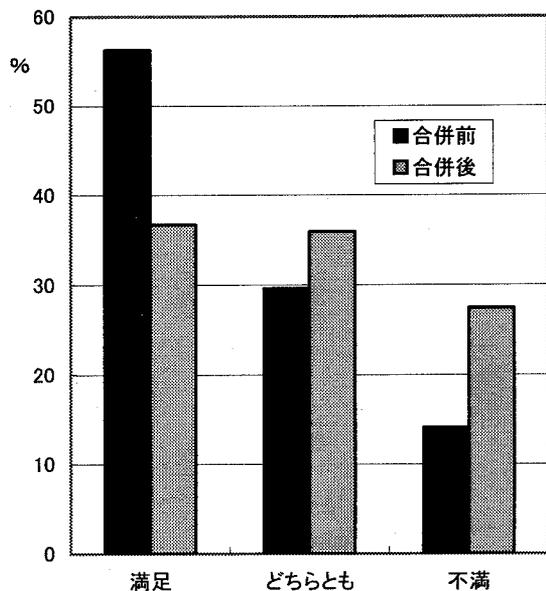


図2 スポーツ環境満足度(小都市)

表2 スポーツ環境満足度(小都市) %

	満足	どちらとも	不満
合併前	56.3	29.6	14.1
合併後	36.7	35.9	27.4

小都市の場合も「満足」の割合は、合併前の56.3%に比べ、合併後は36.7%と約20%減少しています。かわりに「不満」の割合は14.1%（合併前）から27.4%（合併後）に上昇しており、小市町村と同様の傾向を示しています。

(3) 中都市の場合

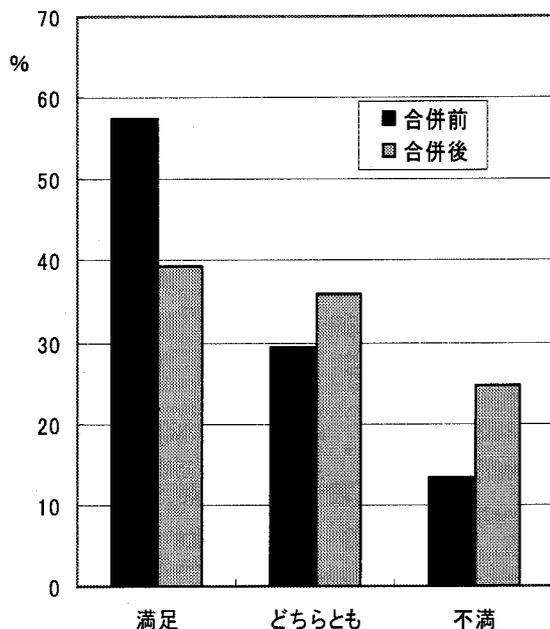


図3 スポーツ環境満足度(中都市)

表3 スポーツ環境満足度(中都市) %

	満足	どちらとも	不満
合併前	57.3	29.4	13.3
合併後	39.4	35.9	24.7

中都市の場合も小市町村や小都市と同様、合併前のスポーツ環境と合併後のスポーツ環境では、合併前の満足度が合併後に比べ高い割合を示しています（合併前 57.3%、合併後 39.4%）。「不満」とする割合も合併前 13.3%から合併後 24.7%と上昇しています。

#### （４）大都市の場合

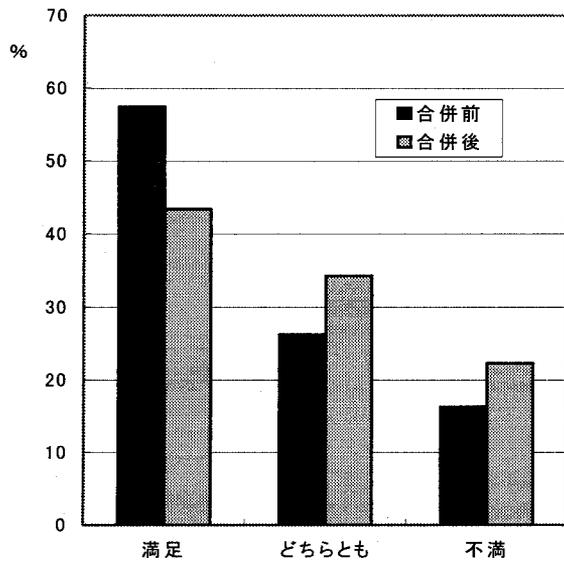


表4 ポーツ環境満足度（大都市）%

	満足	どちらとも	不満
合併前	57.4	26.3	16.3
合併後	43.4	34.3	22.3

大都市においても他と同様の結果がみられます。「満足」としている人が、合併前に 57.4%であったものが、合併後は 43.4%に下がり、合併前のスポーツ環境のほうに「満足」と答える人が多くなっています。

また「不満」とする人も他と同様の傾向を示し、合併前は 16.3%であったのに対し、合併後では 22.3%まで上昇しています。

スポーツ環境に対する満足度は、都市規模の大きさに関係なく、合併前の方が満足（よかった）とする人の割合が多い結果となっています。

次に、これら「不満」、「満足」と思っている項目について少し具体的にみていきます。

### 3. スポーツ施設の使いやすさと費用

まず、合併後のスポーツ環境に対する「不満」な部分を「スポーツ施設の使いやすさ」として見ていきます。この「施設の使いやすさ」を「利用のしやすさ」「手続きのしやすさ」「職員の対応」「利便性」「使用料」に分けてみました。

(1) 利用のしやすさ

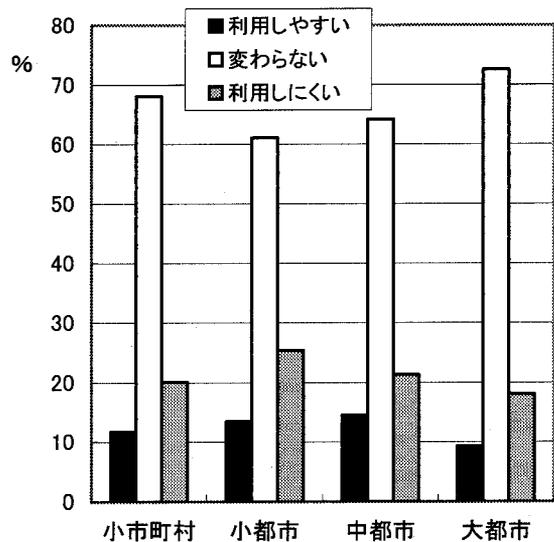


図5 施設利用のしやすさ

表5 施設利用のしやすさ %

	利用しやすい	変わらない	利用しにくい
小市町村	11.8	68.1	20.1
小都市	13.5	61.1	25.4
中都市	14.5	64.2	21.3
大都市	9.3	72.6	18.1

p < 0.001

図5は、施設利用のしやすさを人口規模別にみたものです。いずれの地域においても「変わらない」が最も多くなっています。また、いずれの地域においても「利用しにくい」と答えた人が「利用しやすい」と答えた人を上回っています。

(2) 手続きのしやすさ

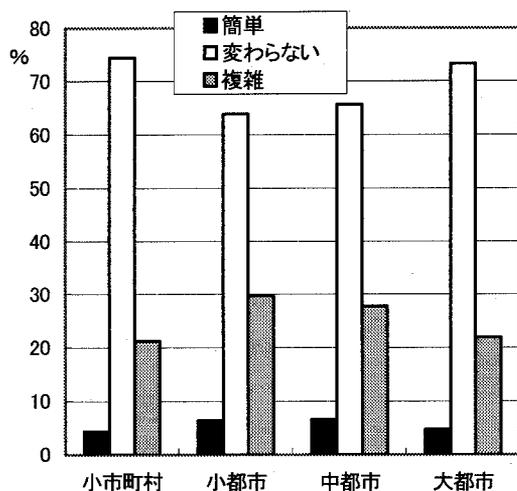


図6 施設利用の手続き

表6 施設利用のしやすさ %

	簡単	変わらない	複雑
小市町村	4.3	74.4	21.3
小都市	6.4	63.9	29.7
中都市	6.6	65.6	27.8
大都市	4.7	73.3	22.0

p < 0.001

図6は、合併後のスポーツ施設の利用に関して手続きのしやすさを聞いています。「複雑になった」と答えた人の中では小都市が最も高く、次いで「中都市」「大都市」「小市町村」の順となっています。しかし、全体的に手続きが「複雑になっ

た」と答えた人が「簡単になった」と答えた人に比べ、非常に高い割合になっています。

### (3) 職員の対応

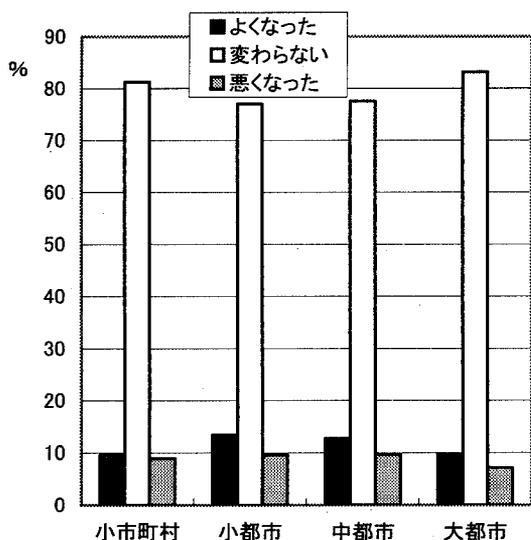


図7 職員の対応

表7 職員の対応

	%		
	よくなった	変わらない	悪くなった
小市町村	9.7	81.3	9.0
小都市	13.4	77.0	9.6
中都市	12.7	77.5	9.7
大都市	9.7	83.2	7.1

N.S.

職員の対応は、全体的には7割から8割の者が「変わらない」と答えており、合併が職員の対応を変える要因にはなっていないことがわかります。「よくなった」か「悪くなった」かで見ると、すべての規模において「よくなった」と答えた人の割合が、「悪くなった」と答えた人の割合を上回っています。手続きの複雑さや利用のしにくさに職員の対応は、利用者にとって「今までと変わらない」、または「いいイメージ」として捉えられているようです。

### (4) 利便性

利便性に関しては、基本的に合併することによって活動範囲が広域になることから利用できる施設は多くなることが予想されます。つまり、利用できる施設が多岐にわたるということは、そこに行くまでの距離や交通手段も複雑になることが考えられます。もちろんこれまで近くにありながら利用できなかった施設が合併によって身近に利用することができるようになるケースもあります。今回の調査では、約8割の人たちが「変わらない」と答えています(次頁)。

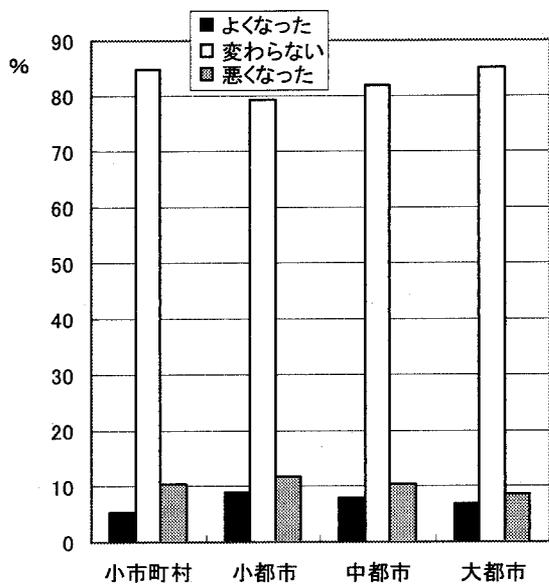


図9 利便性

表9 利便性 %

	よくなった	変わらない	悪くなった
小市町村	5.2	84.5	10.3
小都市	9.0	79.2	11.9
中都市	7.7	81.9	10.4
大都市	6.7	84.9	8.4

p < 0.01

(5) 施設使用料

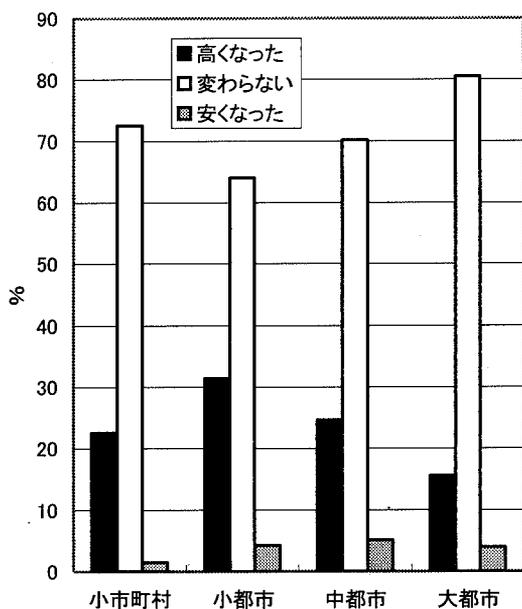


図9 施設使用料

表10 施設使用料 %

	高くなった	変わらない	安くなった
小市町村	22.6	72.6	1.5
小都市	31.5	64.1	4.3
中都市	24.7	70.2	5.1
大都市	15.6	80.6	3.9

p < 0.001

施設使用料に関しては、「変わらない」とする人の割合が最も多くなっていますが、「高くなった」と解答した人が、「安くなった」とする人を大きく上回りました。特に小都市において「高くなった」とする割合が多くなっています。逆に大都市では「高くなった」とする割合は小都市の約半分になっています。

#### 4. スポーツ環境（施設数・利用人数・実施種目・情報・交流）評価

次に地域のスポーツ環境を全体的に合併前と比べて評価してもらいました。

##### (1) スポーツ環境全体の評価

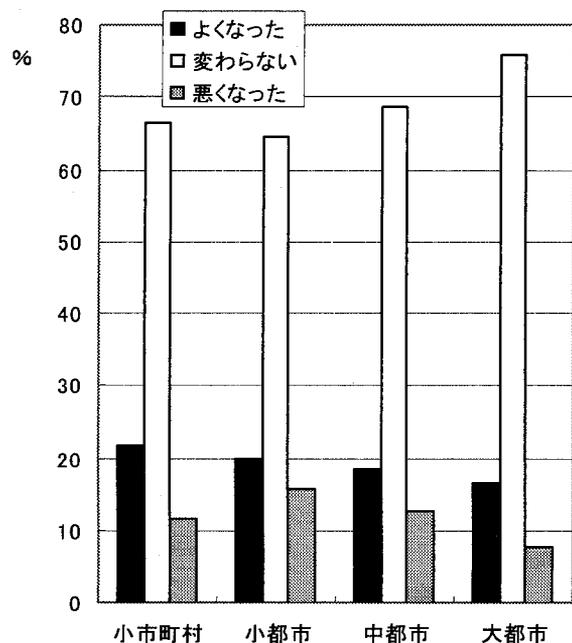


図11 スポーツ環境評価

表 11 スポーツ環境評価 %

	よくなった	変わらない	悪くなった
小市町村	21.9	66.5	11.6
小都市	19.9	64.5	15.6
中都市	18.6	68.8	12.7
大都市	16.5	75.9	7.7

p < 0.001

図 11 は、合併前と比べ、地域のスポーツ環境全体が、良くなったか、悪くなったかを聞いたものです。

これをみると、6割から7割以上の方が合併前と「変わらない」と答えていますが、合併後のスポーツ環境の方が合併前よりも「よくなった」とする人の割合が「悪くなった」とする人の割合よりも高くなっています。特に「よくなった」割合は、大都市より小市町村ほど（人口規模が小さいほど）高い割合を示しています（小市町村 21.9%）。「悪くなった」割合は、小都市で最も高く（15.6%）、大都市で最も低く（7.7%）なっています。

先のスポーツ環境満足度では、合併前に比べ合併後の方がどの人口規模においても満足度は低くなっていました。つまり、自分たちが日頃使用するスポーツ施設においては、利用のしやすさや手続きの仕方、利便性や使用料金について合併による運営や管理部分における変化に若干戸惑いを感じている結果があらわれたものと思われます。しかし、合併によって広域化したスポーツ環境全体を見渡すと合併前に比べ、よくなってきていると評価する人が増えてきたということは、これら以外に評価できる内容が合併によって作り出されていることを意味してい

ます。

次に、どういった項目が合併前に比べ、変わってきているかをみていきます。

(2) 利用できる運動・スポーツ施設の選択数

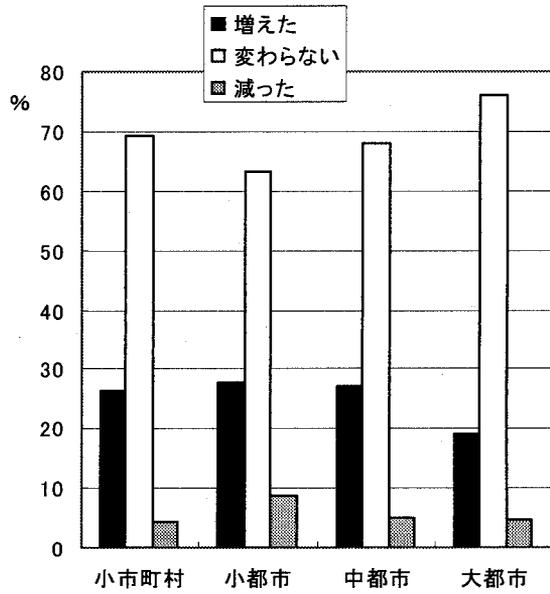


図12 利用できる施設数

表 12 利用できるスポーツ施設数 %

	増えた	変わらない	減った
小市町村	26.4	69.3	4.3
小都市	27.9	63.2	8.8
中都市	27.2	67.8	5.0
大都市	19.2	76.1	4.7

p < 0.001

図 12 は、合併後に利用できるようになった運動・スポーツ施設数（選択肢）を聞いたものです。これをみると、利用できるようになった施設の数はいままでと変わらないか、もしくは増えていることがわかります。大都会において若干「増えた」と答えた人の割合が他より低くなっています（19.2%）。

(3) 施設利用人数

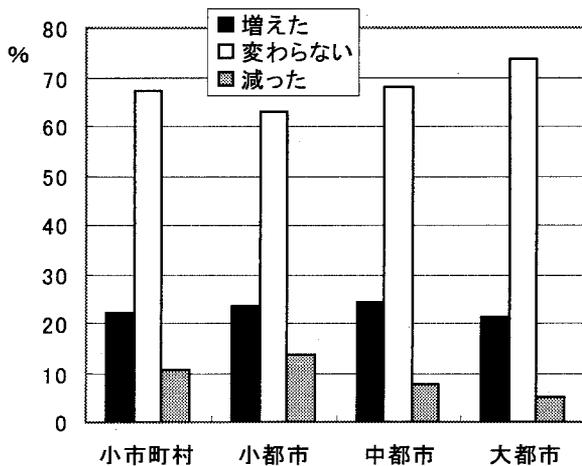


図13 施設利用人数

表 13 施設利用人数 %

	増えた	変わらない	減った
小市町村	22.1	67.1	10.7
小都市	23.4	62.9	13.7
中都市	24.3	68.0	7.7
大都市	21.1	73.6	5.3

p < 0.001

図 13 は、合併後に運動・スポーツ施設を利用する人が増えたのか、減ったのかをみたものです。どの人口規模においても約 2 割以上の人利用人数が増えたと答えており、全体的には活動範囲の広がりによって各施設の利用者も若干増加傾向にあるようです。しかし、一方で小都市や小市町村において 1 割以上の人利用者の減少を感じています。

(4) 選択種目

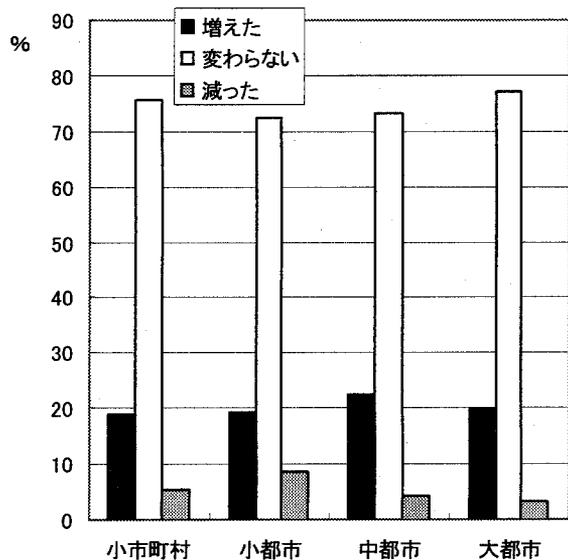


図14 実施種目数

表 14 実施種目数 %

	増えた	変わらない	減った
小市町村	19.0	75.6	5.4
小都市	19.2	72.3	8.5
中都市	22.6	73.1	4.4
大都市	19.8	77.1	3.1

p < 0.001

図 14 は、各運動・スポーツ施設における実施運動種目の増減を聞いたものです。先の利用人数の増加に伴ってか実施されている種目も合併前に比べ、どの人口規模でも 2 割前後増えています。

(5) クラブやイベント情報

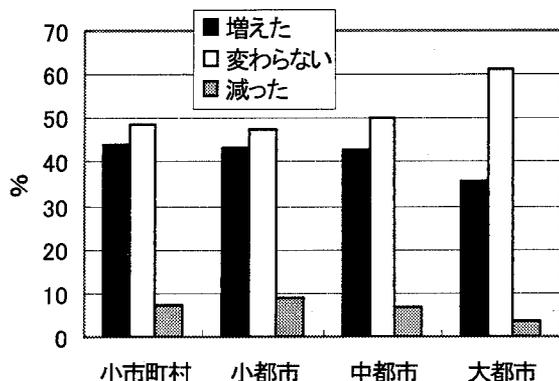


図15 クラブ・イベント情報

表 15 クラブ・イベント情報 %

	増えた	変わらない	減った
小市町村	44.1	48.7	7.2
小都市	43.5	47.6	9.0
中都市	43.0	50.3	6.6
大都市	35.6	60.9	3.5

p < 0.001

クラブについての情報やイベント情報については、グラフからもわかるとおり、35%から40%以上の割合で増えたとしています。合併による行事や大会の縮小・廃止が一方で聞かれる中で新しくなった地域におけるこれら情報の取得は重要な意味を持ちます。

(6) スポーツイベント（大会や教室、講習会など）の開催

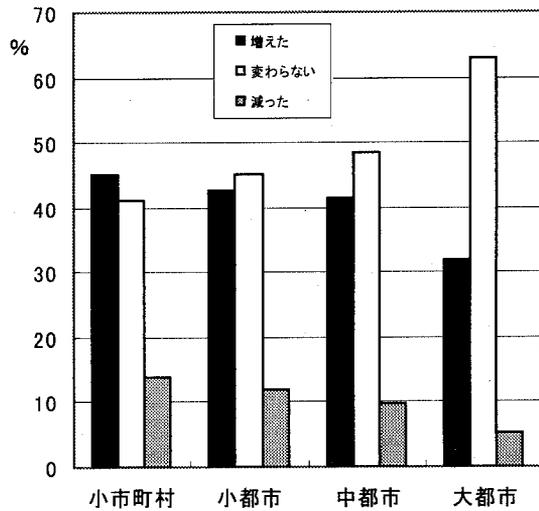


図16 イベント開催

表 16 イベント開催 %

	増えた	変わらない	減った
小市町村	45.0	41.2	13.7
小都市	42.7	45.1	12.1
中都市	41.6	48.5	9.9
大都市	31.8	62.9	5.3

p < 0.001

各種スポーツ大会や教室、講習会の開催は、合併後すべての地域において「増えた」とする人の割合が「減った」とする人を大きく上回っています。特に、人口規模が小さくなるほどイベント開催が「増えた」とする人の割合が高くなる傾向にあります。

(7) 他団体との交流（合同練習や交流試合など）

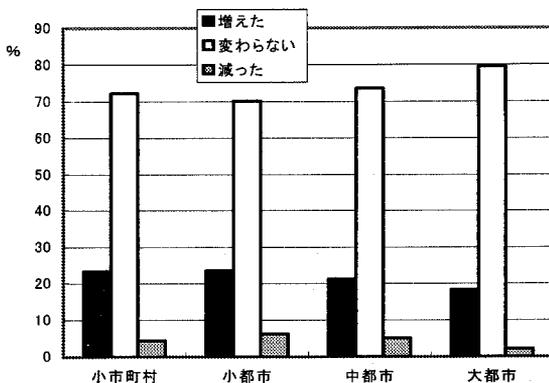


図17 他団体との交流

表 17 他団体との交流 %

	増えた	変わらない	減った
小市町村	23.4	72.3	4.4
小都市	23.6	70.2	6.2
中都市	21.3	73.6	5.1
大都市	18.3	79.5	2.2

p < 0.005

合併によるスポーツ環境の広域化は、これまであまり接触のなかった団体（クラブやサークル）との交流（合同練習や交流試合など）を可能にするきっかけとなります。小市町村や小都市、中都市においては20%以上の人が交流が「増えた」と答えており（大都市では18.3%）、合併によって他団体との交流が徐々に広がりをみせていることが伺えます。

以上、地域のスポーツ環境をみてきましたが、日頃から使用している運動・スポーツ施設の使いやすさについては、手続きの複雑さや利便性など不満を抱く人が多く、満足度は合併前に比べ下がる傾向にあります。しかし、全体的には利用人数や種目数、イベント情報や大会開催、他団体との交流の増加はスポーツ環境が合併前に比べ、よい方向に向かっていると評価しており、地域の人たちがスポーツに参加しやすい環境が整いつつあることを示唆しているといえるでしょう。

## 5. 合併地域への関心度

ここでは、合併によって新たに形成された広域地域についての関心度についてみていきます。

### （1）スポーツ行事への参加希望

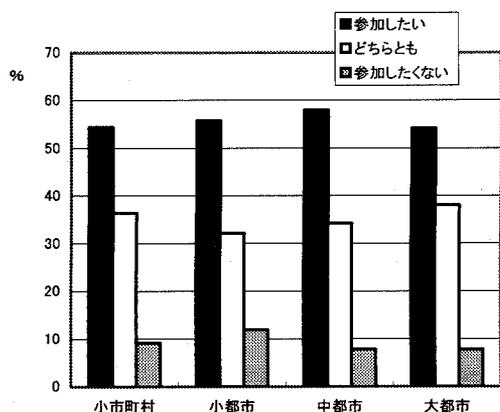


図18 スポーツ行事参加

表 18 スポーツ行事への参加 %

	参加したい	どちらとも	参加したくない
小市町村	54.4	36.4	9.2
小都市	55.8	32.2	12.0
中都市	58.0	34.2	7.8
大都市	54.2	38.0	7.8

p < 0.01

図 18 は、合併前は他の市町村だった地域のスポーツ行事に参加したいかを聞いたものです。

これをみるとすべての市町村、都市で5割以上の人々が新たな地域でのスポーツ行事に参加したいと答えており、スポーツによる新たな地域づくりや人との交流にも期待がもてそうです。つまり、このような行事も含め、スポーツ活動によるクラブ内や他団体の人たちとの交流は、自らの活動欲求を満たすばかりでなく、

やがて町づくりや地域での様々な問題を解決していく力になる可能性を秘めているということです。

(2) 新たな地域への親しみ

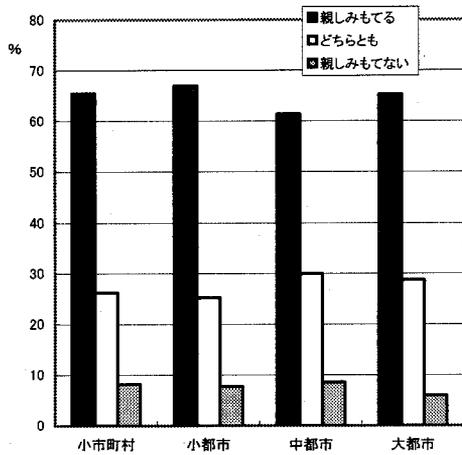


図19 地域への親しみ

表 19 新たな地域への親しみ %

	親しみもてる	どちらとも	親しみもない
小市町村	65.5	26.2	8.2
小都市	67.0	25.2	7.7
中都市	61.4	29.9	8.6
大都市	65.3	28.7	6.0

N.S.

図 19 は、合併前は他市町村であった地域に対して親しみがもてるかを聞いたものです。人口規模による差はありません。すべての地域で新たに加わった地域について「親しみがもてる」と答えた人が 6 割を越えています。

(3) 住んでいる地域への関心度

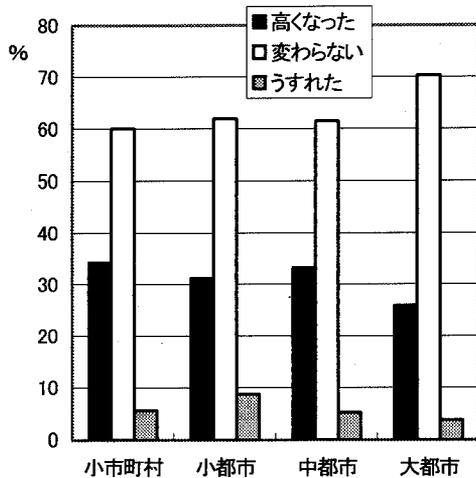


図20 地域関心度

表 20 地域関心度 %

	高くなった	変わらない	うすれた
小市町村	34.2	60.1	5.7
小都市	31.2	62.0	8.8
中都市	33.2	61.5	5.3
大都市	25.9	70.3	3.8

p < 0.05

図 20 は、合併前に比べ、自分の住んでいる地域への関心度がどう変化したかを聞いたものです。

合併によって新たに地域への関心が高まった人は、大都市で 25.9%、小市町村、小都市、中都市では軒並み 30%を越えています。

まさに今回の合併が、地域スポーツを含む生活の質を向上させるための施策を「公民協同」で取り組むきっかけとなることが望まれます。

(4) 地域スポーツで大切にしたい点

最後に、これからの地域スポーツで大切にするとよいと思われる点をまとめてみました。一人 3 つまでの回答で集計したものです。これからのスポーツ施策の資料としてみてください。

表 21 合併後の地域スポーツで大切にしたい点（複数回答）%

	学校体育施設の利用	スポーツイベント	走りやすい町づくり	健康づくり	空地開放	子どもと大人の合同クラブ	チャンピオン育成	スポーツ	自然とふれあうスポーツ	境	高齢者のスポーツ環境	プロスポーツ誘致	その他
小市町村	46.2	67.9	25.3	20.7	19.5	51.7	9.0	6.8	39.8	6.3	3.9		
小都市	47.6	63.2	28.6	20.7	21.7	49.1	8.7	6.7	42.3	6.4	3.0		
中都市	53.7	60.9	28.2	22.9	24.6	48.2	5.4	5.4	43.8	3.5	1.7		
大都市	62.9	59.1	20.2	18.4	27.8	47.6	4.4	4.5	45.2	3.8	2.0		

注「学校体育施設の利用」・・・学校体育施設の空き時間を地域で自由に使える  
「スポーツイベント」・・・気軽に参加できるスポーツイベントを開く  
「走りやすい町づくり」・・・歩いたり走ったりしやすいまちづくりをする  
「健康づくり」・・・医師とスポーツ関係者が連携して健康づくりをする  
「空地利用」・・・市有の空地をスポーツ広場として解放する

- 「子どもと大人の合同クラブ」・・・子どもと大人が一緒にできるスポーツクラブをつくる
- 「チャンピオン育成」・・・・・・・・地元のスポーツ・チャンピオンを育てる
- 「自然とふれあうスポーツ」・・・ヨット、キャンプなど自然とふれあうスポーツの拠点づくりをする
- 「高齢者のスポーツ環境」・・・高齢者や障害者が参加しやすいスポーツ環境をつくる
- 「プロスポーツ誘致」・・・・・・・・プロスポーツを誘致する
- 「その他」・・・・・・・・その他

地域において、これからのスポーツに大切な点としてあげた項目で、特に高い割合を示したものは「スポーツイベント」「学校体育施設の利用」「子どもと大人の合同クラブ」「高齢者のスポーツ環境」でした。その中で、「学校体育施設の利用」や「高齢者のスポーツ環境」では、人口規模が大きくなるにつれこれから大切にしたいという割合が高くなり、逆に「スポーツイベント」や「子どもと大人の合同クラブ」では、人口規模が小さくなるにつれ割合が高くなる傾向にあるようです。しかし、いずれも4～6割以上の高い割合を示しており、合併後のそれぞれの地域特性を生かしたスポーツ環境づくりのための視点としてポイントになってくる項目と思われます。

## 6. 要約

合併による広域化したスポーツ空間（環境）の現状（課題）を把握するために、まず、「広域化」の領域を合併後の人口規模に求め、4つのカテゴリ（「小市町村」「小都市」「中都市」「大都市」）に便宜的に分け、分析を行いました。

スポーツ施設の利用状況は、合併前と合併後と比較してもあまり大きな差はありませんでした。特徴として、人口規模が大きくなるにつれ、週1回以上スポーツ施設を利用する人が若干多い傾向にあることがわかりました。1回の活動時間をみても合併前と合併後で「変わらない」と答えた人が9割前後と、合併による活動量の影響はさほどみられませんでした。

一方、合併前後における地域のスポーツ環境満足度においては、「小市町村」「小都市」「中都市」「大都市」ともに、合併後の満足度が合併前を下回る結果となりました。

この原因をスポーツ施設の使いやすさや使用料からみていくと、施設の利用がしにくくなったこと（手続きの複雑さ、施設までの利便性、施設使用料の高騰など）が考えられ、合併による行政システムの変更などが日頃使うスポーツ施設の使い勝手を悪くしていることが考えられます。

しかし、一転スポーツ環境全体をみわたしてみると、どの人口規模に暮らす人

もスポーツ環境は合併前に比べてよくなったと答えている人が悪くなったとする人を上回っています。その要因を探ってみると、利用できるスポーツ施設が増えたとする人が多くなったこと、また利用者や実施される種目も増え、クラブやイベント情報、大会や講習会の回数も大幅に増えたとする人が多くなったことなどが上げられます。また、広域化によって、他団体とのスポーツ交流も増えたとする人が減ったとする人を大きく上回っており、合併による地域再編は地域の人たちがスポーツに参加する環境を整えるいい機会になることを示唆してくれます。

合併によってそこに暮らす人たちの地域への親しみや関心は、これまでになく高まっていると思います。地域でのスポーツ行事などの取り組みや参加は、他との交流を活発にし、広域化したスポーツ環境を質的により高めると共に地域でのスポーツ以外での問題や課題をも解決する組織づくりへと発展していく可能性を秘めていることから、これからも取り組んでいきたい活動の一つです。

地域スポーツでこれから大切にしていきたい点として上げられた学校体育施設の利用促進やスポーツイベントの開催、高齢者や身障者が参加しやすい環境づくり、子どもと大人と一緒に活動できる場づくりなど「公民」が協同して取り組むことのできる内容であることから、これからのスポーツ空間の再構築に向けての環境づくりの視点になるものと期待できます。

#### 参考文献

- 保母武彦 (2002) 使用尊合併と地域のゆくえ 岩波書店
- 財団法人 広島県体育協会スポーツ医・科学委員会マネジメント班 (2006)  
「市町村合併とスポーツ環境に関するアンケート調査」報告書
- 社団法人 日本広報協会 (2005) 『合併市町村あのまちこのまち 東日本編』
- 社団法人 日本広報協会 (2005) 『合併市町村あのまちこのまち 西日本編』
- 平松 携ほか (2006) 市町村合併によるスポーツ環境の変化について  
-尾道市における2市3町の編入合併の場合- 尾道大学経済論集  
Vol.6 No2 31-49
- 迫 俊道ほか (2006) 市町村合併前後のスポーツ・文化活動に関する地域住民の実態と意識変容について-広島広域都市圏における文化・スポーツ空間の再編・発展に関する調査から- 自由時間研究 29:50-57
- 山領 亨ほか (2006) スポーツ・文化集団を介した接触と地域間意識の関係について-広島広域都市圏の市町村合併地域住民に対する調査票調査より- 自由時間研究 29:58-64

## IV. 合併形態、活動範囲の違いによる分析

1. 市町村合併による広域スポーツ空間の再構築に関する基礎研究
2. 市町村合併による地域再編がスポーツ活動に及ぼす影響についての調査研究　－活動範囲とスポーツ環境評価－

## 市町村合併による広域スポーツ空間の再構築に関する基礎研究

○迫俊道（大阪商業大学）

服部宏治（広島国際大学）

浜田雄介（広島市立大学大学院）

### 1. 緒言

地方分権一括法（1999年）によって始まった、「平成の大合併」と言われる大規模な今回の市町村合併は、行政レベルで広域化による地方財政効率化、地方への一部事務権限の移譲、国全体の財政危機、少子高齢化による過疎化への対応策として全国各地で推し進められている。さらに、市町村合併特例法による財政支援措置の適用が2005年3月をもって失効することが、合併に拍車をかけてきた。総務省によれば、1999年の3月31日には全国の市町村数は全部で「3,232」（市670、町1994、村568）であったのが、2006年3月21日では市町村の総数は1,411減少して「1,821」（市777、町846、村198）となっている。また、2008年3月21日までには市町村の数はさらに26減り、「1,795」まで少なくなることが見込まれている。

行政サイドからすれば、合併によっていかに効率的にコストを削減し、サービスを維持・向上させていくかがポイントになるところである。しかし、合併以前のそれぞれの地域では、その地域特性に配慮した独自の行政施策が行われている場合も多く、合併した後の自治体や地域が抱える課題は形式的な行政区域の形成だけで解消されるものではないだろう。その一例が、住民が受ける行政サービスの低下、住民の負担増である。一般に市町村合併のメリットとして上げられている「福祉サービスなどのサービス水準は高い水準に、負担は低い水準に調整される」はずであるが、現実にはむしろ「サービスは低い水準に、負担は高い水準に調節される」状況としてみることができる。それは、具体的には本報告者らによる先行研究（2005年3月に広島県広島市佐伯区、廿日市市、安芸高田市の住民を対象に行ったアンケート調査）においても「合併前は施設利用料が無料であったのに今後使用料が必要になると言われた」「施設利用の手続きが面倒になった。生活の中で良くなったことは少しもない」「合併して税金が大変高くなって非常に困っています」などの声として確認されている。

これまで市町村合併に付随した広域スポーツ環境の再構築については十分な検討がほとんどなされてきていない。具体的な現状の把握（合併前、合併後の比較を含める）、並びに今後の方向性に関して、合併地域で日ごろから活動しているス

スポーツ団体・組織の関係者を対象とした調査から明らかにしていくことにより、これからのスポーツ振興方策を探る可能性が示唆されるものと思われる。本研究では、全国の合併自治体内の体育指導委員を対象に、合併前と合併後の現状、広域スポーツ空間への期待、合併地域における地域間交流、合併前後での違いや望み等について質問紙調査を行った。またそこから得られた結果について、スポーツ活動の質（クオリティ＝活動エリア・参加人数・活動回数・活動時間・活動仲間・指導者など）、利用のしやすさ（アクセス）、費用（コスト）の3つの評価視点から分析・精査した。以上のことから導出された結果を広域スポーツ空間の再編に関する基礎資料として定置することが、本研究の主たる目的である。

## 2. 方法

本研究では合併前後でのスポーツ環境の変化、今後のスポーツ振興についての課題等について尋ねる質問紙調査を作成し、郵送法による回収方法を採用した。調査にあたっては各市町村（平成11年4月から平成17年4月1日までに合併した全国の合併市町村地域のうち294箇所）の教育委員会宛に本調査の目的（実施の可能性、調査の実施可能時期等）を記した依頼状・質問紙を送付した。その結果、岩手県、山形県、神奈川県、福井県、京都府、高知県、宮崎県、沖縄県の8つの府県を除く、39の都道県の186箇所から調査可能な回答を頂いた。調査の実施時期は2006年12月中旬から2007年2月上旬にかけてである（調査対象のF市のみ諸事情により2007年5月に回答を送付してもらった）。質問紙は調査依頼状送付の際に、1箇所あたり15部から60部の質問紙を添付し、要望に応じて必要枚数を別途郵送した。調査対象者となった体育指導委員の総数は、9,575人である。有効回答数は4,049であった（有効回収率、42.3%）。

本研究の分析方法は次のとおりである。本報告者らによる先行研究から合併形態（編入、新設など）によってスポーツ環境の変化を整理する必要性が認められたことから、調査対象者が普段活動している場所について、「編入合併地域（編入を受け入れた地域）」を「編入（受入側）」、また「編入合併地域（編入してきた地域）」を「編入（被受入側）」、そして新設合併地域を「新設地域」と表して、これらの3つの地域区分と合併前後のスポーツ環境に関する変化等をクロス集計し、クラスカル・ウォリスの検定を行った。

### 3. 結果

表 1. 調査対象者の属性

		N	%			N	%
性別	男性	2771	68.4	居住年数	1年未満	22	0.5
	女性	1261	31.1		1～5年未満	89	2.2
	無回答	17	0.4		5～10年未満	173	4.3
			10年以上		3742	92.4	
年齢	20代	124	3.1	無回答		23	0.6
	30代	539	13.3		活動場所	編入（受入側）	2101
	40代	1267	31.3	編入（被受入側）		725	17.9
	50代	1444	35.7	新設地域		1049	25.9
	60代	593	14.6	無回答		174	4.3
	70代以上	69	1.7				
	無回答	13	0.3				

今回の調査対象者の属性は表1の通りである。表1から「性別」は「男性」が68.4%と約7割弱であり、「男性」の割合が高いことがわかる。また、「年齢」については最も多いのが「50代」で35.7%、つづいて多いのが「40代」で31.3%。40代から50代で今回の調査対象者のかなりの割合を占めている。次に「居住年数」であるが、一番多いのが「10年以上」で92.4%となっており、比較的長く住み続けている人が多い。「活動場所」については、「編入（受入側）」が51.9%となっており全体の半分近い割合となっている。続いて「新設地域」が25.9%、「編入（被受入側）」が17.9%となっている。

#### (1) 合併前後のスポーツ環境に関する評価

表 2. 合併前のスポーツ環境に関する評価 (%)  $p < 0.01$

	とても満足	満足	どちらともいえない	不満足	全く不満足
編入（受入側） (N = 2099)	6.8	47.6	30.2	14.1	1.4
編入（被受入側） (N = 725)	8.3	52.6	26.1	11.9	1.2
新設地域 (N = 1047)	6.8	50.7	28.2	13.1	1.2
合計 (N = 3871)	7.1	49.4	28.9	13.4	1.3

表2は「編入（受入側）」「編入（被受入側）」「新設地域」の活動者それぞれに対する「あなたは、合併前、スポーツをしていた環境に満足していましたか」という問いの答の割合を示している。3つのエリアと合併前のスポーツ環境に関しては、1%水準で有意な差が認められた。「とても満足」について数値を見ていくと、「編入（被受入側）」において8.3%が最も多く、続いて「編入（受入側）」と「新設地域」が6.8%で同じ割合となっている。「満足」に関しては、「編入（被受入側）」が52.6%で一番高い値を示しており、続いて「新設地域」の50.7%、「編入（受入側）」の47.6%と続いている。

表3. 合併後のスポーツ環境に関する評価 (%)  $p < 0.001$

	とても満足	満足	どちらともいえない	不満足	全く不満足
編入（受入側） (N = 2097)	3.7	38.6	35.4	19.1	3.2
編入（被受入側） (N = 725)	2.9	30.5	34.6	26.5	5.5
新設地域 (N = 1047)	2.8	34.3	37.4	22.0	3.5
合計 (N = 3869)	3.3	35.9	35.8	21.3	3.7

表3は「あなたは、合併後の現在、スポーツをしている環境に満足していますか」という問いに対する「編入（受入側）」「編入（被受入側）」「新設地域」におけるそれぞれの活動者の答えをまとめたものである。3つのエリアと合併後のスポーツ環境に関しては、0.1%水準で有意な差が認められた。「編入（受入側）」で最も数字が高いのは「満足」の38.6%であるが、「編入（被受入側）」では「どちらともいえない」が34.6%、「新設地域」も「どちらともいえない」が37.4%となっている。表2において見たように、合併前のスポーツ環境に対しは肯定的な評価をする割合が3つのエリアのどこでも高かったが、合併後になるとポジティブな回答は減少し、ネガティブな答が増加している。

表 4. スポーツ環境全般の評価 (%) p<0.01

	良くなっ たものが 多い	どちらかと 言えば良く なった	変わ らな い	どちらかと 言えば悪く なった	悪くな ったも のが多 い
編入（受入側） （N=2086）	2.3	16.5	72.3	8.0	0.9
編入（被受入側） （N=715）	2.1	18.5	60.8	14.8	3.8
新設地域 （N=1041）	2.2	19.0	64.0	12.5	2.3
合計（N=3842）	2.2	17.6	67.9	10.5	1.8

表 4 は、スポーツ環境全般の評価について尋ねた結果である。3つのエリアと合併前のスポーツ環境全般の評価に関しては、1%水準で有意な差が認められた。「編入（受入側）」において、「変わらない」が72.3%と最も多い。その他も「変わらない」という割合が高いが、「編入（被受入側）」「新設地域」においては、「どちらかと言えば悪くなった」がという答の割合がそれぞれ、14.8%、12.5%と、「編入「受入側」と比べると高くなっていることがわかる。

表 2 から 4 において、合併に伴うスポーツ環境に対する評価を分析してきた。合併前には「編入（受入側）」よりも「編入（被受入側）」「新設地域」において、スポーツ環境の満足度は高いが、逆に合併後に関してはスポーツ環境の満足度は低下している。この要因について、合併前後のスポーツ環境の変化を問う質問群とその答をもとに、以下より検討していく。

(2) 合併後のスポーツ環境の変化について

表 5. 合併後の運動・スポーツ施設の使用料金 (%) p<0.001

	とても高 くなった	少し高く なった	変わらな い	少し安く なった	とても安く なった
編入（受入側） （N=2080）	4.4	14.3	77.9	2.7	0.7
編入（被受入側） （N=709）	13.1	24.5	56.6	4.8	1.0
新設地域 （N=1036）	6.8	19.6	67.3	4.4	1.9
合計（N=3825）	6.7	17.6	71.1	3.6	1.1

表 5 は 3 つのエリアにおける活動者の「合併前と比べて、あなたが日ごろよく使う運動・スポーツ施設の使用料はどうになりましたか」という問いに対する答えをまとめたものである。3 つのエリアと合併前後の運動・スポーツ施設の使用料金に関しては、0.1%水準で有意な差が認められた。いずれの地域においても合併後に料金が高くなっているが、その中でも「編入（被受入側）」における「とても高くなった」（13.1%）「少し高くなった」（24.5%）という答の割合から、合併前と比べてかなり料金が高くなっていることがわかる。

表 6. 利用しやすさ (%)  $p < 0.001$

	とても利用しやすい	少し利用しやすい	変わらない	少し利用しにくい	とても利用しにくい
編入（受入側） （N = 2093）	1.3	11.2	71.7	12.4	3.3
編入（被受入側） （N = 722）	1.8	11.5	53.0	25.2	8.4
新設地域 （N = 1041）	1.9	11.3	62.9	19.4	4.4
合計（N = 3856）	1.6	11.3	65.8	16.7	4.6

3 つのエリアと合併前後の運動・スポーツ施設の利用のしやすさについて、0.1%水準で有意な差が認められ、「編入（被受入側）」で「少し利用しにくくなった」（25.2%）「とても利用しにくい」（8.4%）が他と比べて高くなっていることがわかる。

表 7. 施設手続き (%)  $p < 0.001$

	とても簡単になった	少し簡単になった	変わらない	少し複雑になった	とても複雑になった
編入（受入側） （N = 2088）	1.0	4.2	76.4	18.2	0.1
編入（被受入側） （N = 720）	2.1	4.7	53.1	39.7	0.4
新設地域 （N = 1039）	0.8	4.4	66.0	28.8	0.0
合計（N = 3847）	1.1	4.4	69.2	25.1	0.2

3 つのエリアと合併前後の運動・スポーツ施設の手続きについては、0.1%水準で有意な差が認められた。「とても簡単になった」、「少し簡単になった」という回答については 3 つのエリアでほとんど差が見られない。しかし、「編入（被受入側）」

において、「少し複雑」になったという答が 39.7%と、他のエリアと比べて割合がかなり高くなっている。

表 8. 施設までの利便性 (%) p<0.001

	とても良くなった	少し良くなった	変わらない	少し悪くなった	とても悪くなった
編入（受入側） （N = 2091）	0.3	6.6	85.2	6.7	1.2
編入（被受入側） （N = 720）	1.3	6.1	77.1	13.9	1.7
新設地域 （N = 1042）	0.7	7.1	80.5	9.7	2.0
合計（N = 3853）	0.6	6.6	82.4	8.9	1.5

3つのエリアと合併前後の運動・スポーツ施設までの利便性については、0.1%水準で有意な差が認められた。「変わらない」という答の割合がどのエリアにおいても最も高い。一方で「少し悪くなった」（13.9%）が「編入（被受入側）」において他と比べて高くなっている。

以上の表 5～8 までの結果が影響してか、「編入（被受入側）」は合併後に運動・スポーツ施設の利用人数の低下、また活動時間が低下しているという傾向が調査の結果から浮かび上がってきた。

表 9. 合併後の施設選択肢 (%) p<0.05

	とても増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	とても減った
編入（受入側） （N = 2097）	2.3	21.1	72.2	3.7	0.7
編入（被受入側） （N = 724）	4.3	25.4	62.2	5.1	3.0
新設地域 （N = 1046）	3.3	27.1	62.9	4.4	2.3
合計（N = 3867）	3.0	23.5	67.8	4.1	1.6

3つのエリアと合併前後の運動・スポーツ施設の選択肢については、5%水準で有意な差が認められた。「変わらない」という答がどのエリアにおいても高いが、「とても増えた」「少し増えた」をとの合計は、「編入（受入側）」で 23.4%、「編入（被受入側）」で 29.7%、「新設地域」で 30.4%となっている。施設の選択肢は増加傾向にあり、それは「新設地域」「編入（被受入側）」において高いことが読み取られる。

3つのエリアと合併前後の「スポーツ種目」「他団体との交流」「イベント情報」「イベント開催」、それぞれの増減の変化については、有意な差が認められなかった。「スポーツ種目」については、「とても増えた」「少し増えた」をあわせると、どのエリアも20%近くが「増えた」と答えている。「他団体の交流」については、「編入（受入側）」「編入（被受入側）」「新設地域」のどのエリアでも、「とても増えた」と「少し増えた」を合わせた割合が20%強という結果であった。「イベント情報」と「イベント開催」に関しては、「とても増えた」と「少し増えた」を合わせた割合は、どのエリアにおいても40%以上であった。

表 10. 合併前は他市町村であった地域での行事参加 (%)  $p < 0.01$

	とても参加したい	できれば参加したい	どちらともいえない	あまり参加したくない	ぜんぜん参加したくない
編入（受入側） (N = 2094)	6.8	50.8	34.5	6.4	1.6
編入（被受入側） (N = 725)	7.9	50.2	31.2	9.5	1.2
新設地域 (N = 1047)	4.2	48.0	37.3	9.3	1.1
合計 (N = 3866)	6.3	49.9	34.6	7.8	1.4

表 10 は、3つのエリアと「合併前は他市町村であった地域での行事参加」への意識についてまとめたものであり、1%水準で有意差が認められた。「とても参加したい」と「できれば参加したい」という答を合わせると、どのエリアでも50%を越えている。その中でも最も高い割合なのは、「編入（被受入側）」である。

表 11. 他地域への親しみ (%) NS

	親しみをもてる	ある程度親しみをもてる	どちらともいえない	あまり親しみをもてない	親しみをもてない
編入（受入側） (N = 2100)	26.4	38.8	28.5	5.1	1.2
編入（被受入側） (N = 724)	25.4	38.5	25.4	8.7	1.9
新設地域 (N = 1046)	26.0	39.6	25.6	7.6	1.1
合計 (N = 3870)	26.1	38.9	27.1	6.5	1.3

表 11 は、3つのエリアと合併前は他市町村であった地域への親しみについて尋ねた結果をまとめたもので、これについて有意差は認められなかった。どのエリアにおいてもほとんど数値上の差は認められず、「親しみをもてる」と「ある程度親しみをもてる」を加えて割合が6割以上であり、合併前は他地域であった市町村に対する親しみ生じつつあることがわかる。

#### 4. 考察

表の2から4において、合併前後のスポーツ環境に関する評価を示した。それらをまとめると、合併前後でのスポーツ環境に関する評価は、「編入（受入側）」「編入（被受入側）」「新設地域」のいずれにおいても、「とても満足」「満足」という肯定的なものが「不満足」「全く不満足」という否定的な回答よりも割合が高い。「スポーツ環境全般の評価」についても、「良くなったもの」と「悪くなったもの」についての評価は、「良くなったもの」が多い傾向にあることがわかる。しかし、合併前よりも合併後において、今回分析上の3つの地域区分いずれにおいても満足度は低下している。特に評価が下がっているのは、「編入（被受入側）」であり、次いで「新設地域」も満足度の低下は大きなものとなっている。スポーツ環境全般の評価についても、ネガティブな回答は「編入（被受入側）」にもっとも多く、「新設地域」もそれに次いで不満足の高割合の結果となっている。この要因を探るために、合併後のスポーツ環境の変化に関する結果を提示した。その結果、合併後のスポーツ環境についての評価が低かった地域においては、「運動・スポーツ施設」について、「使用料金が増加したこと」「利用しにくくなったこと」「施設手続きが複雑になったこと」「施設までの利便性が悪くなったこと」の4点が評価に影響を及ぼしたと考えられる。そして、実際の活動場面において、運動スポーツ・施設の利用人数の減少と活動時間が低下しているということ、今回の調査対象者が実感しているという結果が得られた。

合併前から合併後にかけてスポーツ環境全般に対する不満足の高割合が増加しているが、それでも合併後の現状は総じて満足という答の高割合が高い。その要因については、合併後に運動・スポーツ施設の選択肢が増えたこと、「スポーツ種目」「他団体との交流」「イベントの情報」「イベントの開催」が増加したことなどの点が考えられる。ただ、このような傾向の中でもアンケート調査の自由記述においては、いくつかの課題（体育指導員の減少、補助金の削減、大会の位置づけ、大会数の増加による負担、大会の規模の過剰な拡大）も指摘されている。今回の調査対象者の体育指導委員によるスポーツ活動の現場の声についての早急な対応が今後必要になってくると思われる。

「合併前は他市町村であった地域での行事参加」については、「編入（受入側）」「編入（被受入側）」「新設地域」のどの地域においても、積極的な考えが認めら

れた。さらに、合併前は他市町村であった地域への親しみについても肯定的な結果が得られている。市町村合併に伴い新たな地域の再編が求められている中において、スポーツ活動を媒介にしたコミュニティの再編可能性を示唆する調査結果を今後も継続して析出していくためには、継続調査および経年的な変化が得られるようなアンケート調査の作成も検討していかなければならないと考えている。

#### 付記

本研究は科学研究費補助金（基盤研究C、研究課題名「市町村合併による広域スポーツ空間の再構築に関する基礎研究」、研究代表者：服部宏治）の交付を受けて行われた研究成果の一部である。

#### 参考文献

- 「合併相談コーナー」<http://www.soumu.go.jp/gapei/index.html>（2007/9/20 アクセス）。
- 保母武彦．（2002）．市町村合併と地域のゆくえ，岩波書店．
- 平松携ほか．（2006）．市町村合併によるスポーツ環境の変化について－尾道市における2市3町の編入合併の場合－．尾道大学経済情報論集，6(2)：31-49．
- 財団法人 広島県体育協会スポーツ医・科学委員会マネジメント班．（2006）．「市町村合併とスポーツ環境に関するアンケート調査」報告書．
- 社団法人 日本広報協会．（2005）．『合併市町村あのまちこのまち 東日本編』．
- 社団法人 日本広報協会．（2005）．『合併市町村あのまちこのまち 西日本編』．
- 迫俊道ほか．（2006）．市町村合併前後のスポーツ・文化活動に関する地域住民の活動実態と意識変容について－広島広域都市圏における文化・スポーツ空間の再編・発展に関する調査から－．自由時間研究，29：50-57．
- 佐々木信夫．（2002）．市町村合併，筑摩書房．
- 佐々木信夫．（2004）．地方は変わるか－ポスト市町村合併－，筑摩書房．
- 山領亨ほか．（2006）．スポーツ・文化集団を介した接触と地域間意識の関係について－広島広域都市圏の市町村合併地域住民に対する調査票調査より－．自由時間研究，29：58～64．

# 市町村合併による地域再編がスポーツ活動に及ぼす影響についての調査研究

## －活動範囲とスポーツ環境評価－

○服部宏治（広島国際大学） 東川安雄（広島大学） 迫 俊道（大阪商業大学）  
平松 携（尾道大学） 浜田雄介（広島市立大学大学院）

### I. 緒言

1999年より始まった市町村合併（「平成の大合併」）による地域の再編は、そこに暮らす人々の生活自体をも変えるほどの影響を及ぼすものであった。特に合併によって広域化された行政区域では、役場の統廃合によって、行政機関からの距離を遠くし、利用を不便にする。また、一部公共施設の利用料や税負担の増加などを招くケースもあり、従来のコミュニティ機能維持への不安など、本来そこに住む人々の暮らしを向上させるべきはずの政策が住民への負担となっている場合が少なからずみうけられる。

地域で展開されているスポーツ活動もその一つで、本来人々の生活の「質」の向上を目指した市町村合併によって整備されるべきスポーツ環境が、体育館の使用料値上げ、手続きの煩雑さ、イベント開催の減少など利用者にとって必ずしもよい結果をもたらしているとはいえない状況がある。つまり、合併後、広域化した生活空間に構築されるべきスポーツ環境はそこに暮らす人々の生活の「質」やさらには地域の愛着度にも影響を及ぼすと考えられるが、合併による地域の再編はスポーツ環境の再編にまで及んでいないのが現実である。

本研究においては、市町村合併によって広域化した生活空間の中で、地域スポーツ活動の実施者である住民がどういった対応を求められているのか、新しい地域スポーツがどういった社会的機能を果すことができるのかを明らかにしていくことを目的とする。

さて、合併による地域の広がりとは、活動範囲の広がりを意味しており、地域再編に伴い広域化した市町村に活動の場を求めることは、自らのスポーツ環境をより積極的に改善していく一つの方策になると考えられる。そこで、合併に際し、合併前には市町村だった場所へ積極的に出て行くタイプと従来の活動場所において活動を継続するタイプの比較を通して自分たちがおかれているスポーツ環境の満足度（使いやすさ、利便性、費用、他団体との交流、イベント情報や大会への参加など）、地域生活への関わり度（地域への親しみ、地域への関心）についてみていく。

調査は、各合併市町村に委嘱された体育指導委員の方々への質問紙法により、日ごろの地域スポーツ活動の状況や意識を探った。体育指導委員は、その地域で

スポーツの普及・発展に寄与し、各市町村教育委員会より委嘱されている。それゆえ、行政サイドの立場として見る見方があるが、今回の調査における自由記述（施設の使用料をもう少し安くしてほしい。地域スポーツに対し行政が指導員や部員の声を聞く場を持ってほしいなど。）をみても地域スポーツ活動についての把握が最もよくできている人たちであり、利用者側に近い立場・意見をもっていると理解できる。

さらに、行政対住民という対峙したかたちではなく、今回の調査（表1「運動、スポーツの振興施策を誰が中心となって行うべきか聞いたもの」）にもみられるように9割以上の人たちが住民と行政が一体となってこれからのスポーツ振興を考えていきたいと願っている。

表1 運動・スポーツ振興策の中心 (%)

行政	住民	行政+住民 +企業	住民+行政	住民+企業	行政+企業	その他
6.6	13.5	29.1	48.2	1.0	1.2	0.5

このことは、合併による新たなスポーツ振興を「公民協同」型で行うことを望んでおり、合併という施策による広域コミュニティが形成される中で両者が協力して対応していかなければならない状況にあるといえる。

## II. 方法及び視点

本研究は、平成11年4月から平成17年4月1日までに合併した全国の合併市町村地域294ヶ所からそこに登録されている体育指導委員の方々を対象に行った質問紙調査のデータ分析に基づく。調査内容は、合併前後でのスポーツ活動の状況、地域スポーツ環境評価等からなり、各教育委員会（体育指導委員協議会担当部署）宛に本調査の目的、依頼文とともに質問紙を送付した。実際の調査は担当部署に一任し、年末年始の協議会での実施、または郵送法などによった。調査期間は、2006年12月中旬から2007年2月上旬までとした（諸事情により年度当初の調査になった地区が1ヶ所存在する）。

調査対象となった体育指導委員の総数は9,575名であり、有効回答数は4,049であった（有効回収率42.3%）。

表2で回答者の性別を見ると男性が7割近くを占めている。年齢は40代～50代が全体の7割近くを占め、次いで60代（14.6%）、30代（13.3%）と続く。居住年数は全体の9割以上が10年以上であり、合併による地域におけるスポーツ環境の実施についても十分認識できていると推察される。

表2 調査対象者の内訳 (%)

全体	性別			居住年数				
	男性	女性	不明	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10年以上	不明
4,049人	68.4	31.1	0.4	0.5	2.2	4.3	92.4	0.6
年齢								
20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	不明
3.1	13.3	31.3	35.7	14.6	1.7	0.3		0.3

分析は、スポーツ環境を整えるための条件を使いやすさ（利用のしやすさ、手続き、利便性）、費用（使用料）、スポーツ活動の質（クオリティ＝施設選択、実施種目数、他者との交流、イベント開催など）にまとめ、合併前は他市町村だった地域にも合併後出かけるようになったグループ＝（ここでは多地域活動派とする。）と合併後も他市町村だった地域には出かけていないグループ＝（ここでは同地域活動派とする。）を視点として、スポーツ環境に対する評価、満足度等についてクロス集計し、 $\chi^2$ 検定を行った。なお、質問紙における評価選択肢は全て5段階評価であったが、分析上の差がより明確になるよう3段階評価に集約した。例えば「とても増えた」「少し増えた」「変わらない」「少し減った」「とても減った」は、「とても増えた」「少し増えた」を合わせ「増えた」とした。また、「少し減った」と「とても減った」を合わせ、「減った」とし、「変わらない」を加えた3段階評価で表記した。

### Ⅲ．結果及び考察

#### 1. スポーツ活動参加者の活動範囲

まず、地域再編によって広域化した市町村におけるスポーツ活動の状況として、活動の範囲（広がり）についてみていく。

表3は、合併後のスポーツ活動範囲として「合併前は他市町村だった地域にもでかけるようになった」か「合併後も他市町村だった地域にはでかけていないか」聞いたものである。

表3、合併前に他市町村だった地域へでかけるか (%)

でかけるようになった	でかけていない
54.2	45.8

注)「合併前は他市町村だった地域にもでかけるようになった」を「多地域活動

派」、「合併後も他市町村だった地域にはでかけていない」を「同地域活動派」として以下に表記する。

合併したことで利用できる施設が身近になったケースや逆に利用者が増え使いづらくなるケース、無理に他地域だったところへ行かなくてもこれまで通り十分満足しているケースなど様々な理由があるだろうが、現実として合併前までは他地域だったところへ合併後でかけるようになった者（「多地域活動派」）の割合は50%を越えている。つまり、合併した地域の半数以上の者のスポーツ環境が、すでに合併前に比べ変化していることを表している。

## 2. 活動範囲の違いによるスポーツ環境評価

### (1) スポーツ環境満足度

地域の広域化は、スポーツ活動においても約半数の人達の活動パターンに変化をもたらしていることから、これら合併後のスポーツ環境に対する満足度を両グループ（多地域活動派・同地域活動派）からみていく（表4）。

表4 合併後スポーツ環境満足度 (%)

	満足	どちらともいえない	不満足
多地域活動派	42.7	35.0	22.3
同地域活動派	34.7	37.2	28.1

$$\chi^2=31.119$$

$$P<0.001$$

これをみると両者の間に0.1%水準で有意な差が認められた。多地域活動派は、今のスポーツ環境に対して42.7%が「満足」と答えており、同地域活動派の34.7%を上回っている。逆に「不満足」の割合は多地域活動派で22.3%、同地域活動派が28.1%と若干同地域活動派が上回る結果となっている。

この多地域活動派のスポーツ環境に対する満足度と同地域活動派の満足度の差について、具体的要因を、施設の使いやすさ（利用のしやすさ、手続き、利便性、施設選択肢、実施種目数）、費用（施設使用料）、活動の質（種目数、社交空間、他との交流、イベント情報や講習会・大会開催、スポーツ行事参加）からみていく。

(2) 施設の使いやすさ

表 5 施設の利用しやすさ (%)

	利用しやすい	変わらない	利用しにくい
多地域活動派	16.4	61.1	22.5
同地域活動派	8.5	71.6	19.9

$\chi^2=68.028$  P<0.001

施設の利用しやすさ(表5)では、全体的の6割~7割以上が「これまでと変わらない」と答えている。「利用しやすい」と答えた者は、多地域活動派が16.4%同地域活動派の8.5%に比べ高くなっているが、利用のしにくさも多地域活動派が22.5%と同地域活動派(19.9%)を上回っている。

表 6 施設利用手続き (%)

	簡単となった	変わらない	複雑になった
多地域活動派	6.6	66.7	26.7
同地域活動派	4.3	72.3	23.4

$\chi^2=18.355$  P<0.001

さらに施設利用の手続きについては(表6)、全体の2割以上の者が複雑になったとしている。タイプ別では、多地域活動派の方に「複雑になった」(26.7%)とする者が同地域活動派(23.4%)に比べ多くなっている。行政機関の統廃合などによる影響であろうか。

表 7 施設までの利便性 (%)

	よくなった	変わらない	悪くなった
多地域活動派	9.2	80.0	10.8
同地域活動派	4.8	85.4	9.8

$\chi^2=31.021$  P<0.001

利便性について(表7)は、多地域活動派で「よくなった」とする割合が多地域活動派で9.2%と同地域活動派の4.8%を上回るが、8割以上の者が今までと「変わらない」と答えている。「悪くなった」と答えた者の割合は、多地域活動派(10.8%)の方が同地域活動派(9.8%)よりも高くなっている。

表 8 スポーツ施設の選択肢・実施種目の数 (％)

		増えた	変わらない	減った
施設選択肢 P<0.001 $\chi^2=267.272$	多地域活動派	36.6	58.6	4.8
	同地域活動派	13.7	79.4	6.9
種目数 P<0.001 $\chi^2=116.698$	多地域活動派	26.4	69.4	4.3
	同地域活動派	12.9	80.0	7.1

次に利用できるスポーツ施設の選択肢の数、実施されている種目数についてみていく(表8)。

運動・スポーツ施設の選択肢が増えることは、利用者にとって行動の自由度が増す。多地域活動派では、活動範囲の広がりと共に利用できる施設も共に増加していることがわかる(36.6%)。同地域活動派では、施設選択・種目数とも約8割の人たちがこれまでと変わらないとしているが、以前と同様の場所での活動を考えると、「変わらない」割合が高いのは当然であろう。また、普段利用している運動・スポーツ施設で行っているスポーツ種目の増加では、多地域活動派の26.4%が増えたと答えているのに対し、同地域活動派では、その半数(12.9%)にとどまっている。つまり、多地域活動派が利用している施設では、合併以前に比べ多くの団体やグループが様々な種目をおこなってきているとみることができ、これらと同施設で活動することは、単に個人的運動欲求を満たすのみならず、クラブ間のネットワークづくりや情報の共有を図る環境をつくることを可能にする。

施設の使いやすさを5つの点(利用しやすさ、手続き、利便性、施設選択肢、種目数)からみてきたが、それぞれ「利用しやすさ」「手続きの仕方」「利便性」「施設選択肢」「種目数」とも多地域活動派にポジティブな回答が多かった。特に施設選択肢の数、実施されている種目の数の増加においては同地域活動派の約2～2.5倍もの差が生じている。しかし、「使いやすさ」「手続きの仕方」「利便性」については、それぞれ多地域活動派に「利用しにくい」「複雑になった」「悪くなった」とネガティブな回答が同地域活動派を上回る結果となった。

(3) 施設使用料

次に費用の面についてみていく。

表 9 は、日ごろ使う運動・スポーツ施設の使用料について聞いたものである。

表 9 施設使用料 (%)

	高くなった	変わらない	安くなった
多地域活動派	27.3	67.2	5.5
同地域活動派	21.0	75.4	3.6

$\chi^2=32.137$  P<0.001

費用の面においても、多地域活動派に「高くなった」とする者の割合が 3 割近くに達し、同地域活動派（約 2 割）よりも高い値を示している。施設使用料に関しては、多地域活動派、同地域活動派とも高くなったとする者の割合が安くなったと答えた者の割合よりも高く（約 5~6 倍）、住民にとって合併による負の部分があられた結果となった。

(4) スポーツ活動の質に対する評価

スポーツ活動を質的に充実させる要因として「社交の場や時間」、「他との交流」「イベント情報」「大会開催の数」「合併前は他地域だったスポーツ行動への参加希望」についてみていく。

表 10 は、ふだん活動しているクラブの活動時間の中で練習時間以外に、社交（雑談をしたりお茶を飲んだりして和む環境）の場や時間があるかを聞いたものである。

表 10 活動時間に社交の場や時間があるか (%)

	ある	ない	わからない
多地域活動派	85.5	11.5	3.1
同地域活動派	76.6	16.8	6.7

$\chi^2=55.405$  P<0.001

これをみると、2 者の間に有意な差はあるが、多地域活動派、同地域活動派とも 7~8 割以上の者がこれら社交の場や時間を持っており、活動する団体や活動の場に社会的機能を発揮する基本的条件が整っているといえる。

クラブやサークルでの活動も含め、スポーツ活動の中に社交的場面を持つこと

は、成員間の人間関係の深まりはもとより、他のクラブ員や地域の人たちとも関係が深まることを期待されることから、大切にしたいものの一つである。

次に他団体との交流(合同練習や交流試合)、スポーツのクラブのイベント情報、スポーツ大会や教室、講習会の開催についてみていく。

表 11 他との交流、イベント情報、大会開催、スポーツ行事参加 (%)

		増えた	変わらない	減った
他との交流 $\chi^2=202.397$ $P<0.001$	多地域活動派	30.9	64.9	4.1
	同地域活動派	12.0	82.6	5.5
イベント情報 $\chi^2=174.584$ $P<0.001$	多地域活動派	52.3	42.2	5.6
	同地域活動派	31.4	59.8	8.8
大会開催 $\chi^2=215.342$ $P<0.001$	多地域活動派	52.4	38.5	9.1
	同地域活動派	29.3	57.5	13.2

「他との交流」とは合併前と比べて、他の団体(クラブやサークル)の人たちとの交流(合同練習や交流試合など)が増えたかどうかを聞いている。多地域活動派では、30.9%の割合で交流が増えたと回答しており、同地域活動派の12.0%に比べ、高い割合を示している。活動範囲の広がり、他との交流を深める結果となっている。

また、「イベント情報」は、合併前と比べて、スポーツのクラブやイベントについての情報が増えたかどうかを聞いている。これは、多地域活動派の半数以上(52.3%)が、増えたと回答しており、同地域活動派の31.4%を上回る結果となり、活動範囲の広がり、効果をあらわしているといえる。

「大会開催」とは、合併前と比べて、運動やスポーツイベント(スポーツ大会や教室、講習会など)の開催が増えたかどうかについてみたものである。これについても多地域活動派にとって他との交流や情報の交換が大会開催の機会を増やしていった表れであろう。

表 12 合併前は他市町村だった地域のスポーツ行事への参加 (%)

	参加したい	どちらともいえない	参加したくない
多地域活動派	63.8	29.8	6.4
同地域活動派	46.5	40.8	12.7

$\chi^2=128.604$   $P<0.001$

表 12 は、合併前は他市町村であった地域のスポーツ行事への参加希望を聞いている。多地域活動派において、「参加したい」とする者が 63.8%となっており、同地域活動派に比べ高い割合を示している。「参加したくない」は、同地域活動派は 12.7%に対し、多地域活動派 6.4%と低くなっている。つまり、多地域へ活動の範囲を広げることは、単に活動場所を求めて移動していくことではなく、他の団体やクラブとの交流を活発にし、情報を共有したり、スポーツ行事への参加希望を増やしたり、自らのスポーツ環境を質的に向上させることに役立っている。また、これらのことで利用者間の交流、情報交換が進み、広域化するスポーツ環境における共存のための協同ネットワークの構築をも可能にする。

#### (5) 地域愛着度

スポーツを通しての他団体やクラブ等との交流や情報の共有、イベントへの共同開催や参加による人と人との広がりや深まりは、スポーツを楽しみたい、健康や体力の維持・増進などといった個人的欲求を満たすことのみでなく、活動する地域への愛着度にもポジティブな影響を及ぼすことが期待される。

表 13、表 14 は、自分の住んでいる地域への関心度、合併前は他市町村であった地域に対する親しみ度をみたものである。

表 13 地域関心度（自分の住んでいる地域） (%)

	高くなった	変わらない	薄れた
多地域活動派	39.6	55.9	4.6
同地域活動派	23.4	69.7	6.9

$$\chi^2=120.091 \quad P<0.001$$

自分の現在住んでいる地域に対しては、合併前に比べ、関心が高くなった割合が、多地域活動派で 39.6%、同地域活動派では 23.4%と、多地域活動派に高くなる割合が有意な差としてあらわれた。

表 14 合併前に他市町村だった地域への親しみ (%)

	親しみを持てる	どちらともいえない	親しみを持ってない
多地域活動派	71.4	22.8	5.8
同地域活動派	57.0	32.5	10.4

$$\chi^2=91.279 \quad P<0.001$$

また、合併前は他市町村であった地域に対する親しみ度（表 13）では、多地域活動派の実に 71.4%の人が、合併前には他市町村であった地域に対して合併後に親しみを持っており、同地域活動派の 57.0%以上に高い割合を示した。

多地域活動派のような活動範囲の広がりや、スポーツ環境評価を高めると同時に、地域への愛着度においてもプラスの効果があることが認められた。つまり、スポーツを通じた活動の広がりや、スポーツ環境に対する総合的な評価を上げると同時に、合併地域における愛着度をも高めていく効果が期待できるということ、そしてそれは、各地域でスポーツ活動を行っている人たちとの共存のための協同作業を可能にし、さらには地域に起こる様々な諸問題に対してもお互いが協力していけるパワーを持ちうる可能性を示唆してくれる。

#### IV. まとめ

市町村合併によるスポーツ環境への影響を広域化する地域再編の中でとらえ、スポーツの活動範囲の違いから分析を試みた。

つまり、市町村合併による生活圏の広域化はスポーツ空間の再構築を求められることから、人々のスポーツ活動を合併前は他市町村だった地域へ合併後、スポーツ活動をしに行っているか（多地域活動派）と合併前は他市町村だった地域にはでかけていない（同地域活動派）に分け、「使いやすさ」「費用」、「活動を質的に向上させる要因」に分け、分析を行った。結果、合併後、合併前に他市町村だった地域へスポーツを行いに行くようになった人の割合は 54.2%で、でかけない人 45.8%に比べ、若干多い結果となった。合併後のスポーツ環境に対する満足度は、多地域活動派で 42.7%と、同地域活動派（34.7%）に比べ、高い割合を示した。具体的には、利用のしやすさの中で、「施設の使いやすさ」や「施設利用手続き」「利便性」においては、多地域活動派にポジティブな回答が多かった反面、ネガティブな回答も同地域活動派を上回る結果となった。また費用面においても「施設利用料」は多地域活動派の方が同地域活動派に比べ高くなったと回答する者が多い結果となった。しかし、活動を質的に向上させる要因（他団体との交流、イベント情報、スポーツ行事への参加など）においては、多地域活動派にポジティブな答えが多くなった。つまり、スポーツ環境の満足度は、施設の使いやすさや利用手続きの問題、利便性や使用料金以上に、利用できる施設が増えることや、実施種目の多さ、さらには、他の団体やグループとの交流、イベント情報、大会や教室・講習会の開催の多さによるところが大きいと思われる。また、多地域活動派に、合併前は多市町村であった地域へのスポーツ行事参加率も高く、地域への愛着も高くなることから、広域化した地域の人たちとの交流は、スポーツを軸としたネットワークをつくることを可能にし、共存のための基盤をつくることのできる可能性を示唆してくれた。また、これらネットワークが果たす社会的機能

として、地域への愛着が増し、スポーツに限らず、地域での様々な問題に対して、それを解決していく働きを有することが期待される。

スポーツ活動の多地域活動を一つの例として、広域化した地域でのスポーツを通じた人間関係の構築が、これからのスポーツ環境への対応、地域づくりに役立つものと思われる。

#### 付記

本研究は、科学研究費補助金（基盤研究 C 研究課題名「市町村合併による広域スポーツ空間の再構築に関する基礎研究」研究代表者 服部宏治）の交付を受けて行った研究成果の一部である。

#### 参考文献

- 保母武彦 （2002）使用尊合併と地域のゆくえ 岩波書店
- 財団法人 広島県体育協会スポーツ医・科学委員会マネジメント班（2006）  
「市町村合併とスポーツ環境に関するアンケート調査」報告書
- 社団法人 日本広報協会（2005）『合併市町村あのまちこのまち 東日本編』
- 社団法人 日本広報協会（2005）『合併市町村あのまちこのまち 西日本編』
- 平松 携ほか（2006）市町村合併によるスポーツ環境の変化について  
-尾道市における2市3町の編入合併の場合- 尾道大学経済論集  
Vol.6 No2 31-49
- 迫 俊道ほか（2006）市町村合併前後のスポーツ・文化活動に関する地域住民の実態と意識変容について-広島広域都市圏における文化・スポーツ空間の再編・発展に関する調査から- 自由時間研究 29：50-57
- 山領 亨ほか（2006）スポーツ・文化集団を介した接触と地域間意識の関係について-広島広域都市圏の市町村合併地域住民に対する調査票調査より- 自由時間研究 29：58-64

## V. 資 料

1. 単純集計
2. 「市町村合併による広域スポーツ空間の再構築」に関するアンケート
3. 自由記述（合併形態別）

## 1. 単純集計

### I. あなたの運動・スポーツ活動について

表 1 施設の利用立場 (％)

	指導者としての 使用が多い	指導者・利用者の立場 とのに同じくらい	利用者としての 使用が多い	指導者・利用者と もにほとんど使用 していない	欠損値
N	1128	1397	1244	273	7
％	27.9	34.5	30.7	6.7	0.2

表 2 主に行っている活動種目 (％)

	屋内個人種目	屋内集団種目	野外個人種目	野外集団種目	欠損値
N	769	1602	718	913	47
％	19.0	39.6	17.7	22.5	1.2

表 3 スポーツ環境に満足か (合併前) (％)

	とても満足し ていた	満足していた	どちらともい えない	満足していな かった	全く満足して いなかった	欠損値
N	286	1990	1176	530	56	11
％	7.1	49.1	29.0	13.1	1.4	0.3

表 4 スポーツ環境に満足か (合併後) (％)

	とても満足し ている	満足している	どちらともい えない	満足していな い	全く満足して いない	欠損値
N	132	1437	1456	858	152	14
％	3.3	35.5	36.0	21.2	3.8	0.3

表 5 運動・スポーツ振興施策の中心 (％)

	行政	住民	行政と住 民と企業	住民と行 政	行政と企 業	住民と企 業	その他	欠損値
N	264	550	1176	1937	46	39	22	15
％	6.5	13.6	29.0	47.8	1.1	1.0	0.5	0.4

表 6 合併前とくらべたスポーツ活動範囲 (%)

	合併前は他市町村だった地域にも合併後でかけるようになった	合併後も他市町村だった地域にはでかけていない	欠損値
N	2159	1821	69
%	53.3	45.0	1.7

表 7 現在の運動・スポーツ活動の程度 (%)

	週 1 回以上	月 2～3 回程度	月に 1 回程度	年に数回程度	年に 1 回程度	欠損値
N	2163	1066	448	354	13	5
%	53.4	26.3	11.1	8.7	0.3	0.1

表 8 ふだん活動しているクラブの雰囲気 (%)

	練習の時もそれ以外の時もきびしい	練習の時はきびしいが、それ以外の時はなごやか	練習の時もそれ以外の時もなごやか	わからない	欠損値
N	52	892	2652	374	79
%	1.3	22.0	65.5	9.2	2.0

表 9 ふだん活動しているクラブの性格 (%)

	自分達の力を伸ばすためにきびしい練習をして鍛えるタイプ	今の自分の力に合わせて気軽に運動・スポーツをするタイプ	欠損値
N	581	3354	114
%	14.3	82.8	2.8

表 10 練習時間以外の社交の場や時間 (%)

	おおいにある	多少ある	ほとんどない	まったくない	わからない	欠損値
N	814	2404	548	110	78	95
%	20.1	59.4	13.5	2.7	1.9	2.3

表 11 クラブの活動状況 (%)

	非常に積極的に活動している	積極的に活動している	あまり積極的に活動していない	積極的に活動していない	わからない	欠損値
N	417	2293	867	144	223	105
%	10.3	56.6	21.4	3.6	5.5	2.6

表 12 他団体との交流 (％)

	合併前も合併後も活発に交流している	合併前にくらべ、活発に活動している	合併前にくらべ、交流回数は減った	合併前も合併後もほとんど交流はしていない	わからない	欠損値
N	1061	632	393	1326	515	122
％	26.2	15.6	9.7	32.7	12.7	3.0

Ⅱ. 合併前後の地域スポーツ環境について

表 13 スポーツ施設を利用する回数 (％)

	週に1回以上	月に2～3回	月に1回	年に数回程度	0回	欠損値
合併前 N	1978	938	451	557	86	39
％	48.9	23.2	11.1	13.8	2.1	1.0
合併後 N	1906	908	494	615	84	42
％	47.1	22.4	12.2	15.2	2.1	1.0

表 14 運動・スポーツ施設の選択肢 (％)

	とても増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	とても減った	欠損値
N	119	928	2747	162	68	25
％	2.9	22.9	67.8	4.0	1.7	0.6

表 15 運動・スポーツ施設の使用料 (％)

	とても高くなった	少し高くなった	変わらない	少し安くなった	とても安くなった	欠損値
N	270	704	2817	139	45	74
％	6.7	17.4	69.6	3.4	1.1	1.8

表 16 スポーツ施設の利用しやすさ (％)

	とても利用しやすくなった	少し利用しやすくなった	変わらない	少し利用しにくくなった	とても利用しにくくなった	欠損値
N	67	441	2639	669	193	40
％	1.7	10.9	65.2	16.5	4.8	1.0

表 17 運動・スポーツ施設の手続き (%)

	とても簡単になった	少し簡単になった	変わらない	少し複雑になった	とても複雑になった	欠損値
N	46	176	2760	1009	6	52
%	1.1	4.3	68.2	24.9	0.1	1.3

表 18 運動・スポーツ施設の利用人数 (%)

	とても増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	とても減った	欠損値
N	107	804	2672	317	74	75
%	2.6	19.9	66.0	7.8	1.8	1.9

表 19 運動・スポーツ種目数 (%)

	とても増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	とても減った	欠損値
N	53	752	2956	176	46	66
%	1.3	18.6	73.0	4.3	1.1	1.6

表 20 1回の活動時間 (%)

	とても増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	とても減った	欠損値
N	19	198	3541	188	47	56
%	0.5	4.9	87.5	4.6	1.2	1.4

表 21 スポーツ施設までの利便性 (%)

	とても良くなった	少し良くなった	変わらない	少し悪くなった	とても悪くなった	欠損値
N	24	260	3301	354	64	46
%	0.6	6.4	81.5	8.7	1.6	1.1

表 22 運動・スポーツ施設の職員の対応 (%)

	とても良くなった	少し良くなった	変わらない	少し悪くなった	とても悪くなった	欠損値
N	64	395	3165	315	48	62
%	1.6	9.8	78.2	7.8	1.2	1.5

表 23 他の団体との交流 (％)

	とても増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	とても減った	欠損値
N	51	830	2914	137	52	65
％	1.3	20.5	72.0	3.4	1.3	1.6

表 24 スポーツクラブやイベント情報 (％)

	とても増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	とても減った	欠損値
N	134	1565	2024	209	69	48
％	3.3	38.7	50.0	5.2	1.7	1.2

表 25 運動やスポーツイベントの開催 (％)

	とても増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	とても減った	欠損値
N	182	1489	1898	333	110	37
％	4.5	36.8	46.9	8.2	2.7	0.9

表 26 まわりのスポーツ環境 (％)

	良くなったものが多い	どちらかといえば良くなったものが多い	あまり変わらない	どちらかといえば悪くなったものが多い	悪くなったものが多い	欠損値
N	91	695	2715	420	74	54
％	2.2	17.2	67.1	10.4	1.8	1.3

### Ⅲ. 地域生活について

表 27 合併前に他市町村だった地域への親しみ (％)

	親しみをもてる	ある程度親しみをもてる	どちらともいえない	あまり親しみをもてない	親しみをもてない	欠損値
N	1052	1558	1105	263	56	15
％	26.0	38.5	27.3	6.5	1.4	0.4

表 28 ふだん活動している場所 (％)

	編入を受け入れた地域	編入してきた地域	新設合併地域	欠損値
N	2101	725	1049	174
％	51.9	17.9	25.9	4.3

表 29 合併前に他市町村だった地域のスポーツ行事 (%)

	とても参加したい	できれば参加したい	どちらともいえない	あまり参加したくない	ぜんぜん参加したくない	欠損値
N	248	1995	1406	316	58	26
%	6.1	49.3	34.7	7.8	1.4	0.6

表 30 自分の住んでいる地域への関心 (%)

	とても関心が高くなった	少し関心が高くなった	変わらない	少し関心がうすれた	まったく関心がうすれた	欠損値
N	206	1084	2512	197	28	22
%	5.1	26.8	62.0	4.9	0.7	0.5

表 31 これからの地域スポーツで大切にしたい点 (複数回答) (%)

	学校体育施設利用	スポーツイベント開催	走りやすいまちづくり	健康づくり	市有の空き地利用	子どもと大人の合同クラブ	チャンピオン育成	自然とふれあうスポーツ	高齢者スポーツ	プロスポーツ誘致	その他	欠損値
N	2053	2553	1057	846	912	1990	290	243	1704	207	111	27
%	51.0	63.5	26.3	21.0	22.7	49.5	7.2	6.0	42.4	5.1	2.8	0.7

表 32 合併後地域人口 (%)

	1万未満	1万～5万未満	5万～10万未満	10万～20万未満	20万～30万未満	30万～40万未満	40万～50万未満	50万～90万未満	90万以上	欠損値
N	37	1262	1009	913	273	176	182	162	35	0
%	0.9	31.2	24.9	22.5	6.7	4.3	4.5	4.0	0.9	0

※選択肢不備のため調査データ削除 (表内数値は、各市町村ホームページを参照し作成)

表 33 生活している地域 (%)

	編入を受け入れた地域	編入してきた地域	新設合併地域	欠損値
N	2025	681	1163	180
%	50.0	16.8	28.7	4.4

表 34 合併した市町村数 (%)

	2市町村	3市町村	4市町村	5市町村	6市町村	7市町村	欠損値
N	869	763	769	388	364	639	257
%	21.5	18.8	19.0	9.6	9.0	15.8	6.3

IV. あなた自身について

表 35 性別 (%)

	男性	女性	欠損値
N	2771	1261	17
%	68.4	31.1	0.4

表 36 年齢 (%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	欠損値
N	124	539	1267	1444	593	69	13
%	3.1	13.3	31.3	35.7	14.6	1.7	0.3

表 37 居住年数 (%)

	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10年以上	欠損値
N	22	89	173	3742	23
%	0.5	2.2	4.3	92.4	0.6

# 「市町村合併による広域スポーツ空間の再構築」に関するアンケート

## 体育指導委員の皆様への調査のお願い

私どもは、本年度、日本学術振興会科学研究費補助金制度の適応を受け、「市町村合併による広域スポーツ空間の再構築」と題し、全国の市町村合併地域において住民のスポーツ活動の指導に従事している全国の体育指導委員の方々約1万人を対象にアンケート調査をおこなっております。

具体的には、今回の「平成の大合併」といわれる市町村合併が地域のスポーツ環境に及ぼした影響に焦点をあて、合併の形式（編入合併・新設合併）や旧市町村の特性などが新しいスポーツ環境にどう影響を及ぼしているかを明らかにしたいと考えています。また、今後、スポーツを通じた合併に伴う地域再編、新しい地域づくりに関しても合併による影響を最も身近に感じておられる体育指導委員の方々の率直なご意見、ご感想をお聞きし、これからのスポーツ環境づくり、地域づくりの一助にできればと考えております。

回答いただきました内容につきましてはすべて統計処理し、みなさまにご迷惑をおかけすることはありません。また、全国的な調査によって得られたデータは、報告書にまとめ、ご協力いただいた部署にお配りし、これからのスポーツ環境づくり、まちづくりに活用していただければと考えております。

大変お忙しい時期に申し訳ありませんが、上記趣旨をご理解頂き、本調査にご協力賜りますようお願いいたします。

平成18年11月

広島国際大学 保健医療学部 服部宏治

広島大学 教育学部 東川安雄

広島市立大学 国際学部 迫 俊道

## 記入上のお願い

1. 回答はすべて回答票のほうにあてはまる答えの番号をご記入ください。
2. ご記入にあたっては、地域の運動・スポーツ活動にかかわっている一個人として答えてください。
3. 質問は全部で6ページあります。最後のページまでよく見て回答してください。

## I. あなたの運動・スポーツ活動について

問1 あなたは、指導者の立場として施設を使用する他に利用者として使用することがありますか。

- |                 |                          |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 指導者としての使用が多い | 2. 指導者・利用者の立場ともに同じくらい    |
| 3. 利用者としての使用が多い | 4. 指導者・利用者ともにほとんど使用していない |

問2 あなたが主に行っている活動種目は次のうちのどれですか。一つを選んでください。

1. 主に屋内でやる個人種目（バドミントン、卓球、水泳、体操など）
2. 主に屋内でやる集団種目（バレーボール、バスケットボール、ソフトバレーなど）
3. 主に野外でやる個人種目（ゴルフ、陸上、ウォーキング、キャンプなど）
4. 主に野外でやる集団種目（野球、サッカー、ソフトボールなど）

問3 あなたは、合併前、スポーツをしていた環境に満足していましたか。

1. とても満足していた
2. 満足していた
3. どちらともいえない
4. 満足していなかった
5. 全く満足していなかった

問4 あなたは、合併後の現在、スポーツをしている環境に満足していますか。

1. とても満足している
2. 満足している
3. どちらともいえない
4. 満足していない
5. 全く満足していない

問5 あなたは、運動・スポーツ振興施策を誰が中心となって行うべきと思いますか。

1. 行政が中心
2. 住民が中心
3. 行政と住民と企業
4. 住民と行政
5. 行政と企業
6. 住民と企業
7. その他

問6 あなたのスポーツ活動範囲は、合併前とくらべてどうなりましたか。

1. 合併前は他市町村だった地域にも合併後でかけるようになった
2. 合併後も他市町村だった地域にはでかけていない

問7 あなたの現在の運動・スポーツ活動はどの程度ですか。

1. 週に1回以上
2. 月に2～3回程度
3. 月に1回程度
4. 年に数回程度
5. 年に1回程度

問8 あなたがふだん活動をしているクラブの雰囲気はどうですか。

1. 練習の時もそれ以外の時もきびしい
2. 練習の時はきびしいが、それ以外の時はなごやか
3. 練習の時もそれ以外の時もなごやか
4. わからない

問9 あなたがふだん活動しているクラブの性格はどのタイプに近いですか。

1. 自分達の力を伸ばすためにきびしい練習をして鍛えるタイプ
2. 今の自分の力に合わせて気軽に運動・スポーツをするタイプ

問10 あなたがふだん活動しているクラブの活動時間の中で練習時間以外に、いわゆる社交（雑談をしたりお茶を飲んだりして和む環境）の場や時間がありますか。

1. おおいにある
2. 多少ある
3. ほとんどない
4. まったくない
5. わからない

問11 あなたがふだん活動しているクラブの活動状況はどうですか。

- |                   |                |          |
|-------------------|----------------|----------|
| 1. 非常に積極的に活動している  | 2. 積極的に活動している  |          |
| 3. あまり積極的に活動していない | 4. 積極的に活動していない | 5. わからない |

問12 あなたがふだん活動しているクラブは、合併前とくらべ他団体との交流はどうですか。

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 合併前も合併後も活発に交流している | 2. 合併前にくらべ、活発に活動している    |
| 3. 合併前にくらべ、交流回数は減った  | 4. 合併前も合併後もほとんど交流はしていない |
| 5. わからない             |                         |

## II. 合併前後の地域スポーツ環境について

問13 あなたが主にスポーツ施設（公園や野外活動施設を含む）を利用する回数は合併前に比べてどうですか。

- |     |           |     |           |
|-----|-----------|-----|-----------|
| 合併前 | 1. 週に1回以上 | 合併後 | 1. 週に1回以上 |
|     | 2. 月に2～3回 |     | 2. 月に2～3回 |
|     | 3. 月に1回   |     | 3. 月に1回   |
|     | 4. 年に数回程度 |     | 4. 年に数回程度 |
|     | 5. 0回     |     | 5. 0回     |

問14 合併前と比べて、あなたが利用できる運動・スポーツ施設の選択肢はどうになりましたか。

- |           |           |          |
|-----------|-----------|----------|
| 1. とても増えた | 2. 少し増えた  | 3. 変わらない |
| 4. 少し減った  | 5. とても減った |          |

問15 合併前と比べて、あなたが日ごろよく使う運動・スポーツ施設の使用料はどうになりましたか。

- |             |             |          |
|-------------|-------------|----------|
| 1. とても高くなった | 2. 少し高くなった  | 3. 変わらない |
| 4. 少し安くなった  | 5. とても安くなった |          |

問16 合併前と比べて、スポーツ施設は利用しやすくなりましたか、利用しにくくなりましたか。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. とても利用しやすくなった | 2. 少し利用しやすくなった |
| 3. 変わらない        | 4. 少し利用しにくくなった |
| 5. とても利用しにくくなった |                |

問17 合併前と比べて、運動・スポーツ施設の手続きは簡単になりましたか、複雑になりましたか。

- |              |              |          |
|--------------|--------------|----------|
| 1. とても簡単になった | 2. 少し簡単になった  | 3. 変わらない |
| 4. 少し複雑になった  | 4. とても複雑になった |          |

問 18 合併前と比べて、あなたが日頃よく活動している運動・スポーツ施設の利用人数は増えましたか、減りましたか。

- |           |           |          |
|-----------|-----------|----------|
| 1. とても増えた | 2. 少し増えた  | 3. 変わらない |
| 4. 少し減った  | 5. とても減った |          |

問 19 合併前と比べて、あなたが日頃よく活動している運動・スポーツ施設で行っているスポーツ種目増えましたか、減りましたか。

- |             |              |          |
|-------------|--------------|----------|
| 1. とても増えた   | 2. 少し増えた     | 3. 変わらない |
| 4. 少し少なくなった | 5. とても少なくなった |          |

問 20 合併前と比べて、あなたが日頃活動している施設で、1回に活動できる時間はどうになりましたか。

- |             |              |          |
|-------------|--------------|----------|
| 1. とても増えた   | 2. 少し増えた     | 3. 変わらない |
| 4. 少し少なくなった | 5. とても少なくなった |          |

問 21 合併前と比べて、スポーツ施設までの利便性は良くなりましたか、悪くなりましたか。

- |             |             |          |
|-------------|-------------|----------|
| 1. とても良くなった | 2. 少し良くなった  | 3. 変わらない |
| 4. 少し悪くなった  | 5. とても悪くなった |          |

問 22 合併前と比べて、現在おもに使っている運動・スポーツ施設の職員の対応はどうになりましたか。

- |             |             |          |
|-------------|-------------|----------|
| 1. とても良くなった | 2. 少し良くなった  | 3. 変わらない |
| 4. 少し悪くなった  | 5. とても悪くなった |          |

問 23 合併前と比べて、他の団体（クラブやサークル）の方々との交流（合同練習や交流試合など）は増えましたか、減りましたか。

- |             |              |          |
|-------------|--------------|----------|
| 1. とても増えた   | 2. 少し増えた     | 3. 変わらない |
| 4. 少し少なくなった | 5. とても少なくなった |          |

問 24 合併前と比べて、スポーツのクラブやイベントについての情報は増えましたか、減りましたか。

- |             |              |          |
|-------------|--------------|----------|
| 1. とても増えた   | 2. 少し増えた     | 3. 変わらない |
| 4. 少し少なくなった | 5. とても少なくなった |          |

問 25 合併前と比べて、運動やスポーツイベント（スポーツ大会や教室、講習会など）の開催は増えましたか、減りましたか。

- |             |              |          |
|-------------|--------------|----------|
| 1. とても増えた   | 2. 少し増えた     | 3. 変わらない |
| 4. 少し少なくなった | 5. とても少なくなった |          |

問 26 あなたのまわりのスポーツ環境（施設やクラブ、情報、指導者など）の全体を見てみてください。合併前に比べて、それらは良くなりましたか、悪くなりましたか。

1. 良くなったものが多い
2. どちらかといえば良くなったものが多い
3. あまり変わらない
4. どちらかといえば悪くなったものが多い
5. 悪くなったものが多い

### Ⅲ. 地域生活について

問 27 あなたは、合併前は他市町村であった地域に対し、親しみをもてますか。

1. 親しみをもてる
2. ある程度親しみを持てる
3. どちらともいえない
4. あまり親しみをもてない
5. 親しみをもてない

問 28 あなたがふだん活動している場所はどこですか。

1. 編入合併地域（編入を受け入れた地域）
2. 編入合併地域（編入してきた地域）
3. 新設合併地域

問 29 あなたは、合併前は他市町であった地域のスポーツ行事に参加したいと思いませんか。

1. とても参加したい
2. できれば参加したい
3. どちらともいえない
4. あまり参加したくない
5. ぜんぜん参加したくない

問 30 合併前と比べ、自分の住んでいる地域への関心に変化はありましたか

1. とても関心が高くなった
2. 少し関心が高くなった
3. 変わらない
4. 少し関心がうすれた
5. まったく関心がうすれた

問 31 合併して、これからの地域スポーツは、どういう点を大切するとよいと思いませんか。あなたが大切と思うものを3つ選んでください。

1. 学校体育施設の空き時間を地域で自由に使える
2. 気軽に参加できるスポーツイベントを開く
3. 歩いたり走ったりしやすいまちづくりをする
4. 医師とスポーツ関係者が連携して健康づくりをする
5. 市有の空き地をスポーツ広場として開放する
6. 子どもと大人が一緒にできるスポーツクラブをつくる
7. 地元のスポーツ・チャンピオンを育てる
8. ヨット、キャンプなど自然とふれあうスポーツの拠点づくりをする
9. 高齢者や障害者が参加しやすいスポーツ環境をつくる
10. プロスポーツを誘致する
11. その他

問32 あなたの住んでいる地域の人口は合併前、合併後でどのくらいですか。

- |     |              |     |              |
|-----|--------------|-----|--------------|
| 合併前 | 1. 1万人未満     | 合併後 | 1. 1万人未満     |
|     | 2. 1万～5万未満   |     | 2. 1万～5万未満   |
|     | 3. 5万～10万未満  |     | 3. 5万～10万未満  |
|     | 4. 10万～20万未満 |     | 4. 10万～20万未満 |
|     | 5. 20万～30万未満 |     | 5. 20万～30万未満 |
|     | 6. 40万～50万未満 |     | 6. 40万～50万未満 |
|     | 7. 50万～90万未満 |     | 7. 50万～90万未満 |
|     | 8. 90万以上     |     | 8. 90万以上     |

問33 あなたがふだん生活している地域はどこですか。

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 編入合併地域（編入を受け入れた地域） | 2. 編入合併地域（編入してきた地域） |
| 3. 新設合併地域             |                     |

問34 あなたの住んでいる地域の合併した市町村数はいくつですか。

- |         |           |         |         |
|---------|-----------|---------|---------|
| 1. 2市町村 | 2. 3市町村   | 3. 4市町村 | 4. 5市町村 |
| 5. 6市町村 | 6. 7市町村以上 |         |         |

#### IV. あなた自身について

問35 あなたの性別は

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問36 あなたの年齢層は

- |         |          |         |         |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代  | 3. 40歳代 | 4. 50歳代 |
| 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |         |         |

問37 現在お住まいの場所にあなたは何年お住まいですか

- |          |           |            |          |
|----------|-----------|------------|----------|
| 1. ～1年未満 | 2. 1～5年未満 | 3. 5～10年未満 | 4. 10年以上 |
|----------|-----------|------------|----------|

問38 現在お住まいの場所はどこですか。旧市町村名でお書きください。

質問はこれで終わりです。ありがとうございました。

### 3. 自由記述（合併形態別）

#### ○編入受け入れ地域からの自由記述

- ・合併市町で事前の勉強会、検討会を、行政も含めたスポーツ普及担当で充分行わないと、合併後の活動に温度差が生じ、まとまりにくい。
- ・テニス、野球ができるところが少ない。
- ・ソフトボール協会に這い入っているが、行事、大会が増えてこまっている。合議して、顔が広がり、人脈が増えた。
- ・町型と村型のスポーツ実施が違っているので統一するのに時間が必要である。
- ・もっと一般の人が利用しやすい様に。又、簡単にできるようにして欲しい。
- ・合併しても、あまり環境はよくなっていない。変化なし。
- ・スポーツのイベント等、広報をしっかりと、目に触れやすいようにして欲しい。
- ・使用する施設体育館は取り合い。しかし、高地トレーニングの施設等にはトップアスリートなどは合宿に来るが…行政はあまりスポーツを盛り上げる気配なし、しかし隣の市は積極的に取り組みされている。
- ・各小中学校ナイター設置。
- ・総合型地域スポーツクラブは非常に良い。
- ・とてもスムーズに活動できていると思います。
- ・新しいスポーツ施設を数多く設置してください。
- ・参加者の多いスポーツ活動の実施。
- ・小さな公園がたくさんありますが、ボールを使った遊びは禁止されているように思います。庭木の問題等もあるでしょうがもう少し考えていただきたいと思います。
- ・低いほうに合わせるのではなく、高いほうに合わせて欲しい。
- ・基本的に都市部であるため、ほとんど変化を感じないが、編入合併地域も同じ行事に参加するようになったため、その地域が身近に感じられるようになった。
- ・あまり変化はありません。
- ・生涯スポーツ推進のためには、ニュースポーツを広げていくことだと思います。できればニュースポーツの道具が高価なので安くして頂きたいと思います。
- ・都市と旧市が交流できるニュースポーツの普及、体験をどんどんできるような環境が必要だと思います。
- ・現状では優秀なスポーツ選手を育成することは非常に難しい。
- ・合併とスポーツ環境との相関はあまりないように思う。時間の経過による変化の方が大きい気がする。

- ・各使用施設の予約、予定等がいつでも自宅から状況把握できれば良い。
- ・施設使用料が高すぎる。小学生、高齢者が参加しやすい環境、料金を考えるべき。
- ・合併後団体スポーツがどんどん減っています。住民のスポーツのためでなく、特定の人のみスポーツしている。住民同士のふれあいが無いのはさみしい。
- ・プロスポーツ選手を育てる活動を、市をあげてやって欲しい。
- ・施設利用料が無料になるといいですね。駐車場が少ない。
- ・総合型地域スポーツクラブを町村で発足できればと思う。行政にバックアップして欲しい。
- ・合併にかかわらず、生涯スポーツをするのに当り「いつでも、どこでも、誰にでも」というスローガンが「いつでもできない、どこでもできない、誰にでもできない」というふうに変わってきています。基本理念の提言をもう一度見直して「いつでも、どこでも、誰にでも」できるスポーツと環境を整えていただければと思います。
- ・合併による自治区域の拡大によって、物理的な「遠さ」による弊害があるように思う。中心部には整備が整えられた大規模な施設があるのに対し、旧町村部未だ以前のままである。中心部の施設を利用しようにも、車で30～60分の距離よりも、近くの既存施設を利用したほうが安心であり、簡単である。合併前後のスポーツ環境は何も変化ないように思う。これから期待するばかりである。
- ・合併前は市内だけで（1日）20人余り体育指導委員でしたが、合併後は全体で42名ほどになり、活動内容も充実しております。合併で、小学校が廃校になり、その使用がムダにならない様に皆で活動したいと思っています。
- ・ミニバス、バレーボール等、大きな大会がありますが、いくつもの体育館で分散しての大会になってしまい、市の施設でも老朽化しており危険な状態です。4面コート、観覧席のある体育館があれば市外のチームとの交流が深まると思います。ぜひ実現して欲しいです。
- ・民間者（地域）の子どもたちの部活動を支援することは難しい。学校はもっとスポーツ活動に取り組むことが必要と思う。部活動を通じて人間関係（先生と子ども、子ども同士、先生と父兄）も充実するのではないかと考える。
- ・市町村合併によってのスポーツ環境へのメリットは全くない。むしろデメリットの方が多い。
- ・市町村合併を行うことにより、合併以前に活動していた環境は様々な変化があり、それに対応していくには、行政と地域住民等の連携、協力がとても重要になってくると思います。
- ・誰でもがいつでも気軽にスポーツを楽しめる環境作りを推進したい。
- ・住民のスポーツ活動に従事している体指としての設問に対する回答。地域の運

動スポーツ活動に関わっている一個人として答えてくださいという依頼ですが、設問の仕方に対して戸惑いを感じました。

- ・市町村合併がなされましたが、競うスポーツはさておいて、それぞれの地域に特色がありますので、少人数でも楽しめるいろいろな種目をできる環境を作ったほうがよいと思いように感じています。人々がとても個性的になってきているように思われます。
- ・気軽に楽しめる運動広場等を作って欲しい。
- ・合併地区との交流は、まだ時間がかかると思います。
- ・編入受け入れの市は、変化を感じられないのでは、大変なのは編入された町村だと思います。
- ・早く体育館（大きい）欲しい。
- ・全国的にいじめの問題、高額医療費等、少子高齢化時代に合併による行政からの予算カットはいかな事と不信感が強い、体指のボランティア活動に対してもっと理解をすべきである。
- ・まだ合併したばかりなのでこれから。
- ・フットサル等新しいスポーツに対応できる（広さなど）施設が必要。どの地区でもしがらみのないスポーツ活動。子どもが自由にスポーツを選べるようにしないといけない。
- ・子どものスポーツの充実を図るべき。
- ・合併等により、地域の健康づくりが気軽行えるようになればよいと思います。
- ・体育館使用種目の規定が異なるので、できる限り許可する方向で検討願いたい。
- ・指導者の育成と強化が必要。
- ・他町のイベント情報がわかり、よいところは取り入れていきたいと思う。自分自身も他町へのイベントに参加したりして活動範囲が広がりプラスになったと思う。指導者交流、指導者育成に力をいれてほしい。
- ・施設が有料化されたのに、借りにくくなった（使用しにくい状態に）。
- ・スポーツ用具の傷みが激しく修理してもらいたい。
- ・行ってみたい所へ行くには、交通費がかかるので、利用施設料金は安くしたほうが良い。
- ・地域的に学校体育館の空きがなく活動ができなく残念です。
- ・平成の大合併により体指が大幅に削減され非常に残念です。生涯スポーツ振興がさげられる中、スポーツ環境に力を入れてください。総合型スポーツクラブが発足したときは大変うまく言っており、文科省は補助金等ががんばっていただきたい。
- ・他の区の人たちに旧市の行事をもう少しアピールしてほしい。他地区には旧市以上アピールを。また情報を。少しの人だけがわかるようにならないように。

- ・古くからクラブが施設を借り切っているため、新設スポーツクラブを立ち上げづらい（何かしたいと思ってもなかなか会場がない）同じクラブが週3回もとっている場合があるので考えてほしい。
- ・競技スポーツはスポーツをする本人がその用具を整えておりますが、レクリエーションスポーツはどうしても行政の財政等をつぎ込んでいただかないと普及しないと思います。
- ・環境作り等、末端まで行き届くようお願いいたします。
- ・体育施設を自由に使えるように考えてほしい。
- ・今、地域にはスポーツクラブがありません。以前はソフトクラブで仲間と一緒に活動しておりました。現在、小学生児童に社会体育でバトミントンの指導させていただいております。
- ・施設が少ないと思うし自由に使用ができない。
- ・合併前は町予算で町民とのスポーツ行事ができたが、合併後地域が広がりまた市の予算が無いという理由で、合併3年になるが1つも行事をできていない。
- ・一箇所で済んでいた手続きが、（鍵等が）分散したので大変苦労している。
- ・私どもの町ではサッカーや野球、その他の球技が開催できるような施設がありません。今後、子どもたちに夢を与えられるような本格的な体育館やグラウンドができればと思っております。
- ・スポーツ活動があっても場所まで遠すぎる。集まりやすい環境を作る。
- ・スポーツ新聞（市の体育施設単位）を独自で発行し、あらゆるスポーツに関しての情報をみんなに知ってもらえるようにしたらよいと思う。
- ・合併して、他市町村の人たちとの交流対して前向きに好意を持ってやっていきたいと思っております。自分自身の向上のためにがんばって生きたいと思っております。
- ・合併後の問題点として（もちろん、合併以前にもあったことだが）田舎の場合、特に公共機関が不備のため、高齢者や子どもたちがスポーツ施設を利用したり、イベント参加する機会に限度があったり、行きたくても行けない等、物理的に困難である場合が多い。
- ・田舎でのスポーツ環境の問題は高齢化と交通である。会員の多くが高齢であるため、近くで気軽にできるスポーツが良いので、広域の交流が困難なところもある。
- ・クラブ活動をしていない個人がぶらりと運動施設を使えるところがあるのが基本だと思う。そういう施設が増えることを望んでいる。
- ・分散したスポーツ施設の建設をお願いしたい。公共施設は大きな大会で利用され、地域での大会開催に伴う場所の確保が困難な状態が続いている。
- ・インドアスポーツが多く、新スポーツとして紹介されるものも、インドアなのに対し体育館が少ないと思っております。それも大型（市民体育館）の建物が少ない。

- ・高齢人口が増える中で、簡単に組み入れるジョギング、ウォーキングコースの整備が必要ではないかと思えます。
- ・体育館の一階の床がコンクリートの固い床で膝等に悪い。どの施設もシャワー等（温湯）使用できるようにしてほしい。
- ・クラブ練習場所がなかなか利用しづらくなったと思う。
- ・このアンケートを目で見えるように活かすこと。期待しています。
- ・総合型地域スポーツクラブをつくり、多くの市民がスポーツに参加できる環境を整備する。
- ・合併を受け入れたことにより、旧郡部から利用者が増えたので、施設の予約がやや難しくなった。より施設の充実を図ってほしいと思う。
- ・旧市町村の情報交換が密に行われることが大切。これからが重要になると思う。
- ・合併してスポーツできる場所は増えたと思うが、なかなか距離的にも遠かったりして出かける機会が無かったので、これからはもう少し視野を広げていきたい。せっかく合併したことだしいろいろな場所に行き、スポーツしていきたいと思えます。
- ・統合する学校等があれば、施設を体育関係に開放したらどうか。
- ・各町村に平等な施設や補助金を。
- ・自由に使える施設があると良い。
- ・もっと充実した施設にしてほしい。
- ・「生涯スポーツ」と騒がれているわりに、介護予防に高齢者対象の運動をと騒いでいるわりに、行政の予算がまず削られるところは、スポーツ関係であるという現実。国からの補助が打ち切られると県はとたんに事業を手放してしまう。今後のあり方を危惧します。
- ・行政・体育指導委員、他のスポーツ連盟（体協）等の連携を上手くとれる様工夫、指示をして欲しい。（各々が一人走りをしないように…）
- ・私、体育指導委員を合併前から24年やっています。合併で6町村が一緒になり、活動についても体育指導委員の立場についても温度差があり、全体を統一するのに時間も必要です。今、困っている面のひとつです。
- ・合併して範囲が広がり、活動範囲も広く求められ、もともとの地域の活動を大切にしてほしいと思う。
- ・テニス人口に対してコート面数が足りません。これから団塊の世代が数多く流れてくると思われますので、コートの補充をぜひお願いします。
- ・整っていた環境から、途上中の環境に合わせていくと、不合理な点が多く不平が出やすい。
- ・合併したとたん、スポーツ振興に対する予算が少なくなり、旧市町村との交流することもできず、人数削減され動きにくい状況です。

- ・合併によりデメリットのほうが多くなった。
- ・幼児から背骨の直立した子どもを育てるべき。筋力と骨格がしっかり育った子どもは、感情も理性もぶれないと思う。30年の経験から。合併もそれ以前も施設環境は変わりません。
- ・体育指導委員やスポーツ指導員、体育関係団体が前向きに地域の体育スポーツのことについて考えていくべきだと思う。特に60歳以上の健康保持について。
- ・施設の老朽化、人口の拡大に伴い、拠点となる総合運動施設の建設を要望いたします。
- ・合併してから意見が異なり、逆に統一されていないことが多く、少しも良くなっていない。合併してプラスになったことがあるのでしょうか。
- ・市のほうは定期的な人事異動で慣れるまで大変だと思います。地域が合併により広くなれば人間関係が薄くなります。それらの点をうまく引き継いで運営、拡大のほどをお願いします。
- ・良い点…委員の人数が増えたのでイベント、事業の当日の参加人数が多くなった。いろいろな生涯スポーツを体験できた。悪かった点…体育指導委員のやり方が違うので、なかなか統一されない。行政も変わったので今までの意志がうまく受け継がれていない。
- ・総合運動場陸上設備を作ってほしい。
- ・野外の総合運動場がほしい。現在、河川敷運動場があるが、洪水のたびに浸水し、使用不能になる。
- ・合併後も旧町単位での大会は開催されていますが、合併後の町民体育祭的な大会を計画したい。
- ・せっかく5町が合併したのだから、スポーツ行事には積極的に多くの人達が参加してもらいたい。また、参加できるように行政のほうも運営指導をしてもらいたい。
- ・誰でも気軽に参加できるスポーツ環境をつくっていくことも今後の課題だと思います。
- ・誰もが好きな時間に好きに体を動かすことを大切に思うのなら、多目的に使える広場をたくさんほしい。ここには公園は大小40～50ヶ所あるが野球ができる場所は2ヶ所くらいではないかと思う。子どもだけでなく、のびのびと体を動かすのにはさびしい数ではないだろうか。
- ・スポーツ施設の増加を希望します。サークル団体が増え、借りるのに抽選に苦労しています。
- ・各市町村の持っていた独自の行事、イベント等があったならば、もっと積極的に情報を流し、参加者の拡大を計り、より広い活動域になると良いと思います。
- ・市内に体育館が不十分のため体育館ができない。

- ・ 体育施設の増設。使用料金の低減。
- ・ 屋内スポーツを行う施設が少ない。
- ・ 現在のところ編入を受け入れた地域のため大きな変化は無いが、編入をしてきた地域においては、公共の施設の料金等に変化があったと聞いています。合併にしても個人的なスポーツ環境には大きな変化はない。これからの高齢化を見ると楽しく気軽にできるスポーツで健康の増進と交流の広がりを進めてもらいたいと思う。そのためにもチャレンジできるスポーツの種類や場所、指導者の育成が望まれると思う。
- ・ 指定管理者制度も始まり、スポーツ環境もこれまでと違ってくることでしょうが、スポーツは生きがいや健康づくりには欠かせない大切なものであると思うので、従来通りとはいかなくても、行政と住民が中心となったスポーツ振興が良いと思います。
- ・ 合併といっても「吸収した方」なので、少々酷な言い方ですが当方の言いなりに進んでいるようだ。合併した側からすれば、従来通りの方法でことが進んでいるので、さほど変化が無いと思われる。
- ・ 行政が総合型スポーツクラブについて理解がない。これからの高齢化に向け、スポーツを通じての健康の意義について、もっと行政は住民に対して具体的に知らせる必要がある。スポーツができない人についても理解が必要である。
- ・ 個人が活動しやすいように大会用の施設ではなくて、小グループが気軽にできる施設が必要である。これには車社会なので駐車場があるので行政の力も必要となる。
- ・ 合併後のお互いの理解、協力等の話し合いの場の環境作りを成功させるためにはどのような形を計画すればいいものでしょう。
- ・ 急に仲間が集まったときに、予約制ではない気軽にスポーツが楽しめる場所が少ない。
- ・ 市民スポーツをもっと積極的に補助してほしい。
- ・ 使用料を1コート当たりにしてほしい。
- ・ 合併前の各々の歴史があり、合併に伴うスポーツ振興や環境の向上は現実的には実現困難である。
- ・ 対等合併であるが(1市2町)、市では違和感は見受けられないが、2町においては吸収されたような行動が一部あり、すっきりしない部分がある。
- ・ 行政の合併はやむを得ないと思いますが、それによってのスポーツ団体の合併もよいと思いますが、行事も合併して3つを1つにするとかは問題があります。統一して良いものと今まで通り各地域で別々にやるべきものとよく考える必要があります。
- ・ 環境はよいと思うが、不景気により、スポーツをするという意識が、特に若い

人にならないように思えます。

- ・市に編入された町村で活発に活動していたスポーツが、市民体育大会に種目の一つに加わったことはとてもよいことだと思いました。
- ・体育館設備を含めて、非常に他府県と比べて少ないです。社会体育を充実させるためにも、学校設備の整備が必要です。
- ・スポーツに関わらせているのですが、今より少しでも多くの方が健康でいられるのはスポーツだと思います。スポーツ人口を増やせたらいいなと思います。
- ・合併後はスポーツに関する行政の関心、支援、補助等が薄れている感じがします。健康、体力の増進を図ることが医療費の削減、子どもの無気力化現象の解消につながると考えます。「官から民へ」が主流になっている時代ですが、民だけでは限界があります。
- ・合併前は施設を利用してもそんなに個人負担はかからなかったのに、現在は多額のお金がかかるので、今までのように簡単に使用できなくなった。施設の申し込みがとても難しくなった。
- ・私の地域のように小さな町が大きな市に編入合併した場合は、行政によるスポーツ振興はゼロになると考えたほうがよいと思います。今回の平成の大合併を見たとき、そのような地域は多く生まれたと思います。今後はそこに住む人たちが、自主的に自立したスポーツクラブを運営し、スポーツ振興を推進していくべきだと思います。ポイントはお金です。財政的基礎をどうするかその一点につきると思います。そのためにはクラブのマイグラウンド、マイ体育館施策を行政は推進すべきだと思います。成功しているところはよい施設があります。
- ・もっと多くの人たちが一生スポーツ（運動）をできるような環境を作るように考えていけたらいいと思っています。
- ・広域（主に田舎）の市町村合併の場合、スポーツ施設までのアクセスがよくなると利用者の流動性は変わらない気がします。
- ・テニスコートの予約がしにくくなった。事務員さんが規則、規則とうるさすぎる。もう少しゆうずうをきかせてほしい。
- ・このアンケートは継続して行わないと意味がないので宜しくお願いします。
- ・地域スポーツに対し行政が指導員や部員の声を聞く場を持ってほしい。スポーツに限らず住民の声を聞かずして住みよい町づくりはできないと思う。行政からの一方的なおしつけだけの町づくりはいらない。
- ・指導という立場の方がややもすれば「勝つ」事が全てのような考えの中で子供達と接しているのが特に目立つ現在、この流れを変革しないと本当の意味でスポーツを楽しむ子供達が少なくなってくるのが危惧される。周りの大人を含め「エンジョイ」する事の素晴らしさ→子供からお年寄り、或いは障害者の方々ま

で全ての人が自分から飛び込んでいける場(環境)を提供し、育てて行く事が大切なのではないかと思う。

- ・スポーツ施設の使用料の低額化
- ・合併前後のスポーツ環境についてのアンケートでしたが、編入を受け入れた地域で生活している為か、前後の変化は殆ど感じておりません。
- ・合併後、大会の参加者(450人程度)が多くなり楽しくなった反面、大会役員るときは大変だ。また会場が広範囲になり交通は不便になった。
- ・合併した側と吸収された側との合併に対する考え方の違いが目立ち一本化できるまで相当の時間がかかりそうです。
- ・体育館の使用料が財政難を理由に高くなったので大変です。だから中学校の体育館で冬は暖房のない所でやっています。それがつらいです。
- ・現状に満足しているため特になし。
- ・地元の総合型 SC に継続的な支援・助成を積極的に行政の方針・施策とし取組んで欲しい。クラブマネジャー☆行政の理解もまだ不足している！！
- ・人口の減少に伴い団体種目のスポーツクラブが停滞気味かと思うイベントを今まで以上に開催し旧町(合併前)等との交流を拡大し住民の交流を通してスポーツ活動の活性化をはかりたい。
- ・公共交通機関が発達していないので(住居から市の施設まで遠い)活動場所は主に地域の小中学校になります。使用期限がある為空いているのに使用できないのが現状です。その辺りを見直せば地域からスポーツの交流ができ市へと発展していくのではないかと思います。
- ・合併はスポーツ振興の合理性が重点なのか？過疎地域は常に残されてしまうようです。
- ・統一になってもスポーツの中心である総合体育館がないのはマイナスである。中途半端な体育館はどこにもあるが一位の総合体育館の設立を早くしてもらいたい。青年から老人まで使用出来る体育館、何かにつけて考えも古い、おくられています。
- ・地域格差をなくすこと。
- ・合併市町間の距離が遠く、交通網の整備が急務と思われる。
- ・現在の状況等でスポーツを楽しむという余裕というものがない。
- ・企業への参加をうながす事も考えてみる。町でのイベント等もふやす。
- ・教育委員会からの、発行、発送なのに各行事への小学校、中学校の先生方の参加、協力が少ないが為、子供達の顔が見えない。
- ・手軽に利用できる広さ、料金、+αのサービス等を備えた施設が欲しいです。サークル等の開設時に常に問題となる点です。
- ・子供から老人が安全にスポーツ出来るスポーツ施設、学校施設の整備をもっと

- 徹底してもらいたい。
- ・道場などの格闘技（例えば柔道）が学べる場所を、考えてほしい。これからは、自己防衛も大切であるため。
  - ・合併市町村（合併した旧市町村）のスポーツ交流がもっとあっても良いのではないか？
  - ・合併だけではなく、10～20年前にくらべてスポーツ環境は子供にとって悪くなったようだ。特に小、中、高において学校がスポーツ（運動面）から手がはなれてゆとり教育や学校終了後の時間があまってもゲームなどにはしている実体は悲しいです。
  - ・各種スポーツ施設などの利用をもっとわかりやすく使いやすく借りやすいシステムを確立して頂きたい。（利用申請・料金など）
  - ・夜間施設を使用する時、電気の照明代や施設代が高くなった。それと、指導者の給付金が安くなった。合併後半分になった。
  - ・大会数も減り、地域が淋しくなった。やはり、地域別での対抗方式の大会が少なくなったため、住民へのスポーツへの感心が減って来ているように思う。
  - ・少子化で団体スポーツが出来ない状態です。
  - ・体の健康には関心があるのだけど、時間がなかったり、そのために時間をとってまで・・・という方が多いと思われまます。スポーツと健康について広く住民の方に知っていただき、気軽にスポーツを楽しめるように、広い範囲なるとなかなか参加されないの小さな範囲（例えば自地体単位）で指導者の育成、充実をはかることがたいせつなのではないかと考えます。
  - ・事例の紹介などもっと他国・県の情報が欲しいと思います。
  - ・合併によってスポーツをする時間が少なくなるように住民の皆さんと運動して行きたい。
  - ・旧地域での活動が主になっているが合併後全体でイロイロ行ってほしいが距離的なこともあり難しいので、大会などの参加を呼びかけていく事から始めたらよいのではないのでしょうか。
  - ・合併はしたけれど予算がないため各施設の充実がなされていないのでは。

#### ○編入してきた地域からの自由記述

- ・合併に伴い、利用できる施設の幅ができたと思うが、利用申し込みの窓口をもう少しまとめて欲しい。学校とかの施設になれば、学校と行政の両方に行かなければならないときもあるので。
- ・幼少のころからスポーツを好きになれるような取り組みを仕組み、親の理解を

得て、推進するべきである。

- ・施設の利用料金が少し高くなったのが残念です。
- ・ソフトボール審判の1種を持っているが、まったく利用できていない。レクリエーションスポーツは経験がなく戸惑っています。自己の技能が活かせず残念です。
- ・近くの体育館を無料または格安で使用できるとよいと思います。
- ・施設の利用がしにくい。いくら合併しても地元を優先するとか考えて欲しい。特に子ども老人に。
- ・利用したいと思っても合併後はお金もかかり、今まで利用されなかったチームが利用するため、確実に練習会場不足、地元優先にならないでしょうか。
- ・環境とつながりがあるとは思わないが、中年層（30～50才代）のスポーツ離れが深刻な状態です。イベント等への参加もかなり少ない。
- ・市町村合併に伴い、人口の減少もあり、学校の統廃合が現実化され、私どもの地域には小中学校が近々無くなりますが、体育館等スポーツ施設が利用できなくなるようなことのないように願いたい。
- ・役員がへって行事がしにくくなった。
- ・まず各地域の体育指導委員の交流が必要だと思う。
- ・合併により体育指導委員の活動がほとんどできない状況です。財政難が理由でしょうが本来の姿ではないと思います。
- ・何歳になっても気軽にスポーツを楽しみたいです。
- ・これからは野外活動施設を
- ・作っていったほうが利用するのではないかと思います。
- ・小、中学校の施設の土、日曜日の使用体育館だけでなくテニスコートなども許可して欲しいです。
- ・体育指導委員としてのとしてのアンケートでしたが、私は体育指導委員として地区のスポーツ交流会などのとき、一役員として参加させてもらっています。運動、スポーツのクラブには入部しておりませんので、このアンケートの回答はピントがずれているかもしれません。自分もスポーツが好きなので個人的にはスポーツジムへ通って汗を流していますが、合併後は地区においてのスポーツ活動が予算や時間の関係で随分縮小され、みなに参加しづらく、活動が弱まったように思います。
- ・合併したメリットが表れる環境を作らなければならない。しかし、今のところ地域環境の違いで、住民間の壁がまだまだないとは言えない。それをスポーツで取り除いていけるならば、これ以上のメリットはないかもしれない。
- ・グラウンド、ナイター施設の整備をしてもらいたい。
- ・行政の合併の弊害か、地域活動が衰退するのが心配である。

- ・施設があっても利用が少ないものがある。また、合併によって同一市内の施設を利用したくても便がよくない。小学校施設の開放がベターである。
- ・体育館の使用料について、安くしてほしいです。お願いします。
- ・体指の数をへらされてこまる。
- ・施設管理が行政中心から住民へと移り変わってきている中で、企業が介入していることが多くなり、そのことで売り上げのみを考え、商業化へ進んでいるように感じる。小さな施設や利用度の少ない所、または種目人口の少ないところなどは削られていく方向性が見られて残念です。切捨での社会がスポーツの世界にも数多くあるのはいかがなものか。山間地域での健康を考えた上での施設運営と指導者育成に本気で考えていかなければならないことを思っています。
- ・各市町村のスポーツ施設にどのような運動設備があるのかわからないことが多いので利用しにくい。
- ・シニアに関しては、行政主体のものは時間、内容ともに寂しくなったと感じました。あまり合併したからといって充実感はありません。反対に地域的にみてもこれから先も不利益感をいただくようなことがあるのではと思います。その分、地域として魅力あるものにする住民の知恵が必要になるでしょう。
- ・スポーツ大好きです。いつまでも体育する習慣を失わないように生きてゆきたいです。そういう環境を維持してゆきたい。
- ・旧施設の保守（修理等）整備をしてもらいたい。
- ・合併に伴って、体育協会の組織がどうなったか全くわからなくなりました。それによって各種スポーツ大会が激減しました。私の地域ではスポーツに関して合併はとてもマイナスになっています。その地域に合った体協組織が必要であると思います。財政面が心配ですが。
- ・合併後人口が減少し（特に若年層）スポーツクラブが活動しなくなった。今後はレクリエーションスポーツの推進を図りたい。
- ・施設利用料が倍増し、体協から補助金も無くなり、スポーツをする個人への負担が極端に多くなった。
- ・スポーツ施設の使用料が高くなった。
- ・スポーツイベントを合併しようとする、限られた人数しか参加できない。底辺を広げるためには、旧市町で大会を開いたほうが良い。しかし、予算がつかなければつぶれてしまう。予算削らないでほしい。
- ・施設不足。
- ・合併後、全地域にスポーツ行事などアピールしてほしい。（広報誌だけでなく）
- ・世界に誇れる健康体操、健康踊りを普及してほしい。ちなみにどこかでは踏み台を使った体操で平均寿命を5～10年延ばしたそうです。
- ・総合型になってから不都合のことが多すぎて、利用者のできる範囲が狭まった。

利用者に不満がいっぱい。

- ・合併に伴い、既存の総合型スポーツクラブに活動の中心が移った。そのため、スポーツ教室などの参加料金が上がったり、施設が遠くなったりして不便を感じる人が多い。合併のため不都合というより、総合型になったための不都合を感じる。
- ・地域住民に総合型地域スポーツクラブの存在、必要性を行政がもっとアピール、指導すべき。合併先の市が総合型クラブを立ち上げてないので理解・協力が得られない。
- ・合併して使用料が高くなり、便宜がはかれなくなることは困る。地域性に合った利用を考えてほしい。
- ・合併して町が主催していたスポーツ行事のほとんどがなくなり、スポーツ環境は大きく後退したと思う。
- ・町民全体が楽しめる運動施設整備が望ましい。
- ・スポーツ施設の利用PRが少ない。
- ・スポーツ施設の周りの環境が悪くなった。草が生え放題のところがあり、トイレも汚くなった。
- ・統合できそうにないものまで、統合され困るものがありました。
- ・スポーツに参加できるように、土台作りができればと思います。
- ・市が大きく大会が大きくなりすぎています。各区での組織を作ったほうが良いと思われます。
- ・陸上競技施設が使える状況にない。早く整備をしてほしい。
- ・施設利用料が高くなり負担になっている。
- ・今のところ無料で体育館を利用させていただいているので問題はありませんが、有料になれば夜間照明等の経費を負担することになり活動に変化があるかもしれない。スポーツ競技も多様化しており、個人少数で楽しめる場所の確保も今以上に必要ではないでしょうか。
- ・合併前は自由に使っていた町所有の施設は、スポーツ振興協会の管理となり使用するにあたりパソコンで申し込みをするというきわめて面倒になりました。そのため無料開放の学校施設を順番に使っております。パソコンでの申し込みがOKとなってもそれに伴い使用料、照明等の費用が負担になります。会員が多いところは良いが、会員が少ないところは負担が多きいのではないのでしょうか。
- ・合併前は多くの方がスポーツを行っていたが、合併後、施設利用にお金がかかり、練習時間（夜間）も夜10時までが9時までにされたおかげで、次々と活動をやめて、いない現実となっている。その地域に合った環境作りをしてほしいと思う。市施設は練習場所も抽選になっており毎週練習できない。
- ・ここ十数年間の少子化に伴い、いろいろな面でチームおよび仲間作りが困難と

なっている。また、学業に対して塾通いが激しくなり、人間同士の触れ合いがかなり希薄となっている。三世代での同居を望みます。地域のふれあいを大切にしていきたいと思っています。

- ・ 合併後、現状のままの制度となっているが、今後利便性や行政の対応が悪くなってくるの見込める。広域合併は行政のためのものであって、（特に吸収された）住民の意向、利便性、将来ビジョンは一切考慮されない。
- ・ 特に子ども（小学生）を対象とした地域ぐるみでスポーツの良さ（レクリエーション）も含め、大人が子どもの育成に積極的に参加し少しでも現在の子どもたちの問題に協力すべきと思っています。
- ・ 今年度までは同じ、来年度からはどのようなようになるか（利用金額など）。
- ・ 合併しても離島なので、スポーツを開催する際もたくさんの人数が集まらないので、種目選択に思案します。また、高齢化しているため競技内容にも思案します。
- ・ 少子化で練習生の減少により、存続の危機にたたされています。
- ・ 今までスポーツ施設（体育館）が少なかったので、編入してきた地域の施設についてイベント等で大いに活用したいと思っています。
- ・ 施設利用料が高すぎる。スポーツ活動が増えているのに使用料が高いのもう少し安くなったら、もっとよい活動ができるんじゃないですか。施設・グラウンドの整備が悪すぎる。
- ・ 合併前に旧町で行っていたスポーツ行事が中止となっている現状が有りスポーツに参加する市民が少なくなっている。合併後の市での大きな大会も大切で有るが各々の地域の大会も大切にして行くべきであるのでは……。支所の生涯学習課の本庁統合の話が有ると聞きましたが、本庁に一本化する事により市民一人一人のスポーツに対する関心が薄くなるのでは……。
- ・ スポーツ施設の利用時間・料金等が変わることをもっと利用者に説明してほしいかった。
- ・ 合併後、環境が良くなったと感じた事はほとんどない。制限があり過ぎるのと、行政側で事務的に計画を立てているだけ、と、住民不在を感じてしまうのである。
- ・ 合併前と同じ人数の体指が必要と思われまます。合併して数年後に人数を少なくする様なことのないようお願いします。各地域では必要と思われる人が体指に成っている訳ですから？
- ・ 施設の使用料もう少し安ければ安心して利用できます。
- ・ 特に変化は感じませんが小さなクラブの活動が困難になるのではと心配しています。
- ・ 合併しても施設や器具が充実したわけではないのでスポーツ環境はあまり変わ

っていないと思います。逆にスポーツに関して大切だと感じているのに予算等は低下して思うように出来なくなるのではと心配です。

- ・スポーツにもバリアフリー、若者から高齢者などみんなが気楽に集えるあたたかい施設が欲しい。
- ・合併後の新編入地域へのスポーツイベントに積極的に参加出来る環境を早く構築してほしい。
- ・1、高齢化社会に向けてのスポーツ施設の充実を望む。2、小学校区別の体協の充実（体指の役割）
- ・合併により施設が多くなった。維持管理の面から市外から利用団体等の誘致を行うか、総合的なスポーツ施設に作り変えて行く必要があると思う。
- ・総合的にスポーツの出来る施設と環境を整える事が必要です。他都市に比べると上記の設備がかなり劣っています。大きな大会を招致出来る施設を！！
- ・総合型地域スポーツクラブ、及、生涯スポーツ社会の実現の創設を望むこと。
- ・合併後に就任した首長が自己顕示欲が強すぎて、新しい施策を進めすぎる。そのため、既存のイベントと新しいイベントの日程がブッキングしたりするなど問題も生じている。スポーツ関連のイベントについても同様に不満を感じる住民も少なくない。
- ・競技者の為よりも健康づくり、生活習慣予防等を目的としたイベントや高齢者向けの教室、仲間作りの場、子供達の運動不足解消を目的とした教室等、気軽に参加でき、運動不足・運動嫌いという人を対象にしたものを（イベント、集い）積極的に取り込んでいけたらいいな。
- ・もっと交流できる雰囲気、環境づくりを全町民上げて確立する必要があるのでは。
- ・良くなった点→使用施設や用具が増えた事。悪くなった点→使用料金が上がった事と使用手続きが増えた事。
- ・住民が気軽にスポーツ等できる環境にもっとしてほしいとの意見がある。

#### ○新設合併地域からの自由記述

- ・身近な所に、スポーツ施設があったらもっと運動ができると思う。
- ・マイナーかどうかわかりませんが、柔道施設の充実を頼みます。
- ・財政面でかなりスポーツ指導の方が削減されてきている。高齢者の健康づくりにも影響が出てくるのでは。
- ・1. 合併前の旧市に出向き、それぞれ（旧町）のスポーツ環境（イベントなど）を知ることができた。

2. 旧町へ出向く折の交通にかかる時間ロスが大変。
  3. 体育指導委員の研修の機会を設けても、参加する委員の数が少なくなっている。
- ・合併により裕福になるとは限らないが、規模は大きくなるので大きな体育館は必要であると思う。
  - ・合併後も社会体育関係者の方々と参加者が協力してスポーツ活動ができていることに感謝すると共に、軽スポーツの普及を目指して一人でも多くの人々がスポーツに関わり、心と体の健康づくり、そして地域づくりに努められるよう行政や企業の方々の協力をお願いします。
  - ・施設等、低額で利用できるようにして欲しい。
  - ・もっと気軽に使えるスポーツ施設を増やして欲しい。合併により身近な施設も使いにくくなった。
  - ・まず、地域スポーツ活動の認知度が住民に低すぎると思います。そして楽しくなければ人は集まってこないなので、ただやればいいのではなく、指導者、利用者共に楽しくできる基礎作りが大切かなと思う。合併前の他市町村でどんなスポーツ活動がされていたのか全然わかりません。
  - ・高齢化社会に向けて町民が心身ともに健康になるためのスポーツ環境作りが必要。
  - ・自治体が体育指導委員の研修等に積極的でない。財政難で余裕がないと言っている。合併前には手当てがあったが、今ではほとんどボランティアである。地域でやるイベントでは会場は無料だがそれ以外の練習等は使用料がいる。地域での使用ぐらひは無料化できないものか。
  - ・合併前は体育指導員そのものの活動の方法、組織などがよくわからなかったし、もう一つの町のやり方とも違うものがあり、戸惑いを感じた。しかしイベントや講習会に参加することによってだんだんと慣れていき、「自分たちが最初ががんばらなければ、いつまでたっても一つの町にまとまらない」と感じるようになった。
  - ・合併により新しい地域が増えた中で、旧の環境のことしかわからない方も多いと思われるため、新しい地域となつてのスポーツ環境をPRすることも大事であろう。
  - ・時間かけながら人間交流からはじめよう。当然、現在ある施設、環境も同時進行させて。
  - ・地域スポーツ活動の実態に則した施設、設備の充実と指導者の育成に努める。
  - ・合併により合理化が進んで、環境が悪くなっているのでは。
  - ・スポーツ施設の充実 ①集中したスポーツセンター ②屋内プールがない ③使用料が高い（スポーツイベント等）

- ・合併前は行政より非常に恵まれた補助をしてもらっていたが、合併後はそのほとんどがカットされたため、施設利用者が行っていた活動を止めてしまう現象が起こってしまった。あまりにギャップがありすぎたのではないか。
- ・合併してわずか2年。旧町（5町）にはこれまで30年40年培ってきた歴史、伝統が存在しますので、そう簡単に一丸になって組織、運営面においてまとまっていくとは思いませんが、鋭意努力し試行錯誤、互譲の精神でもって将来への光明を発見すべきだと思います。
- ・全地域で実施することが大切だと思います。
- ・合併に伴い、小中学校統合で身近にあったクラブ活動が少し減ったと思う。
- ・体育館、テニスコート（オムニ）、室内ゲートボール場、グラウンドと充実したスポーツ施設があり利用者としては合併前後、特に変わりありません。体育指導委員を引き受けたことで、旧町村のほかの方々との交流ができるようになり、楽しみが増えました。
- ・合併により行政からの資金的、人的支援が年々少なくなり不満は多くなっています。
- ・子どもたちへの指導不足（陸上、球技等）を感じます。いろんなスポーツがあることを教えたい。
- ・平成の大合併は財政難によるものなので、スポーツ環境に限らず環境が良くなるまでは、時間がかかるものと思われます。自治体のみならず、住民と企業を交え、スポーツ振興対策を考えなければならないと思う。
- ・以前に増してスポーツ活動に対する環境は悪くなったと思います。特に青少年の健全育成のため尽力されているスポーツ少年団の指導者の方々への行政からのバックアップはほとんどなく、あらゆる面で苦しい状態です。「あの人たちは好きでやっている」という考え方で対応はやめてほしい。
- ・情報が少ない。合併地域の交流が一部に限られ、生涯スポーツよりも競技化傾向が強化され、地域スポーツクラブを進めるための弊害になりつつある。運動を敬遠する人たちが参加できるクラブ化を進めてほしい。
- ・行政と住民と企業の3つが1体となって各種のスポーツの底上げを図っていただけらと思っています。
- ・施設を多くしてください。
- ・施設が少ない。
- ・今後建物を作るより、外へ出て、あるがままの広場を自分たちで考え、多目的に使い、子どもたちに自然の強さと、おいしい空気を充分体内へ。
- ・地域柄、ウィンタースポーツをより安価で楽しめる施設ができたらよいと考えます。ただし、施設運営には多大なコストがかかることが予想されるので、行政、企業、住民にて連携をとることが大切と考えます。

- ・色々のスポーツを気軽にできる環境。一人でもジムができたりする施設。高齢者には運動を低料金でできるマシーンが数多くある場所を早く作ったほうが良いです。また週一にはその施設に行けば健康診断ができるようにしてほしい。急務の1つです。高齢化社会が進んでいますので、加齢者にも気軽に利用できるようなイベントを期待しています。
- ・合併して間もないためか、まだ市は市。町は町といった感じで交流が少なく、スポーツ内容も広めたいと思ってもまとまりがつかないのが現状です。今後、どのように他の市町の良いところを受け入れるのが課題です。役員が覚えても伝え方がそれぞれ違うため集まり方が悪いのが現実です。
- ・大勢の人を収容できる体育館がほしい。専門のスポーツ（武道や弓道）ができる施設がほしい。
- ・屋内外とも日本トップのスポーツイベント、大会等が開催できる施設がほしい。財政上問題点等いろいろあるが、何とかクリアしてほしい。
- ・旧町村の温度差が浮き彫りとなりました。スポーツ施設が点在しすぎていて、まとまりがない。合併に対して行政がついていってない（対応しきれてない）。
- ・質問の内容がスポーツクラブ有りの条件で作成されているためか答えづらい面がある。H18に合併しましたが、現在総合型地域スポーツクラブの創設に向けて努力をしているところです。
- ・合併により一体感を出すのが難しい（各体協の統一感）。
- ・スポーツ地域住民の健康に直結すると思う。住民それぞれ少しでも多く関わってもらいたい。行政は財政難によりスポーツ関係を見直し、削減の方向へ進むとすればとてもさびしいことだと思います。
- ・スポーツ施設の不備が以前と変わらない。特にナイター設備（新設及び修繕）が必要である。日中はみな仕事をしているわけであるから、夜の時間を使って安く気軽に利用できるようにすればいい。
- ・各市町間で、施設に差がありすぎる。
- ・以前は同じ市に所属していた体育館が区の管理で使用できなくなった。合併したのだから同じ市内の施設ということで以前より多くの施設が使えるようになるべきである。施設を管理する側も市のレベルで考えてほしい。
- ・公園施設と体育施設との管理運営が別組織で行っているため、利用条件が違うので利用しづらい。
- ・すべての小学校区に総合型スポーツクラブが設立されています。
- ・広域の人をカバーできるスポーツシステム（環境）の構築を期待します。
- ・小中学校の統合で、使わなくなった学校の体育館等が、利用しやすいものにしてもらいたい。
- ・各地区に行政担当者を置き、活発な活動計画を立案して実行することが地域の

活性化につながる。今はそれが無いと思う。

- ・施設使用料が高くなった。行政に対する文書等の提出が多くなり煩雑になった。
- ・合併前、スポーツ設備に差があり、合併後、設備、利便性の良いところに利用者が集中しがちである。
- ・期待していたほどのスポーツ環境は、まったく得られていない。
- ・野球場、サッカー場（芝）ともに不足しており、スポーツのできるグラウンド等の確保整備を実施し、少年団から学生までの合宿等もできるような環境を整える。
- ・今まである施設を有効に使えること、使うことが重要ではないかと考えます。
- ・専用グラウンドや総合施設を作り、公式大会の開催できる環境があればいいなと思う。
- ・合併後、地元で行われた大会は地元民が多いが、他の割合は少ないようです。
- ・学校等に指導者がいって、生徒がスポーツできることを望みます。
- ・スポーツ指導者を増やしてほしい。
- ・各スポーツ活動において、指導者の交流等、個々の積極的、意識的働きかけが無い限り、合併は排他的なものとなりがちである。そのきっかけ作りを行政に求めるものであります。
- ・合併により以前まで他の町だった人たちとも交流が持て、今は一緒に活動しているが、それは体協、体指といった行政面での単位であり、これからはもっと底辺を支えていってくれる各クラブ、市単位での交流が必要であると思う。そのためにも総合型スポーツクラブの設立への活動が重要と思う。
- ・海を隔てた合併であるためにスポーツ環境の整った本土の施設を十分に活用できない。本庁所在地で行われる競技大会等への参加も思う様に出来ないのが現状である。
- ・クラブに所属してスポーツをしていない者ですが、地域のスポーツ大会の為に練習をしようと施設を借りにいくと空きのほとんどないのが現状です。もう少し簡単に施設が借りられたらと思います。
- ・もっと町民がスポーツに親しめる環境を作っていきたいです。
- ・合併した事によりできた不都合さを早く改善し、合併した事により可能になる利点を生かして活性化されればよいと思います。
- ・活動種目が少なすぎる。
- ・今までは行政主体でやって来ましたが、1年前に総合型スポーツクラブを設立しやっておりますが、会員の確保が大変苦労しています。特に高齢者に対するスポーツ環境作り、又、いかにスポーツに対する感心を向ける事が大変であります。（高齢者も働いてる人が多くなっている。）
- ・合併前は子供達が県大会に行く時の補助金は各町にまかせてあって手厚かった

と思います。合併後は全ての補助金カット。せめて今から日本を背負っていく子供達のスポーツに対する補助金カットは親はたまったものじゃありません。子供に頑張れといいながら県大会に行くところになるとこまるようなことではないのでしょうか？

- ・合併後、スポーツ環境は何も変わっていない。私自身、慣れた場所、顔ぶれで、練習したり、遊んだりしている。何も変化が無い事が問題だと思う。行政が出發ではなく、住民が中心となった総合的なスポーツクラブ造りが必要だと思う。一人一人が運動に関心が持てる様な取り組みが必要であると思う。
- ・市民が安心、安全、安価で楽しめるスポーツ環境づくりが必要
- ・合併前の事業プラス合併後の事業があり両方とも行うのが大変です。又、合併したからと体育指導員を減らす案が出ていますが、現状の事業を行うのに減されてしまっただけでは今まで盛り上がってきた身近な地域の運営が大変になります。
- ・体育館の使用料が発生すると聞きました。できれば今までどおり無料開放してもらえると気軽に使用でき他のクラブの方や、地域の方々と交流が継続できると思います。
- ・屋内ゲートボールコートを設置を希望。現在の地域格差を解消してほしい。
- ・合併してから何でも予算減の為スポーツ環境はとて悪くなったとはいえません。生涯学習全般がずい分後回しにされています。
- ・受益者負担でかつ内容充実を図ってほしい。
- ・旧市町村単位で行われているスポーツ教室に、他の旧市町村に住む人たちも参加できるようになれば良いと思う。
- ・施設の使用料を出来るだけ安くして大人だけのスポーツよりも子供と楽しめるスポーツを考えた方が参加人数が増える様な気がします。
- ・県で2, 3番目の広大な面積を有し、施設は少ない。但し希望はしない。財政の困窮する時が来ると思う。総合型地域スポーツ振興してもう10年を過ぎようとしている。定着していない。(日本は世界に類のない制度があるので)何時でも機会があるごとに参加をして議論したい。
- ・スポーツ環境の整備・構築に関して共通の理念を持つこと。
- ・もう少しまわりの状況や現場の状況を見て考えてほしい！
- ・子供、若い世代のスポーツ離れが、拡大しない様な取り組みを学校や教育関係者から考えてほしいと思います。
- ・合併前からそうであったが、多目的グラウンドばかりが多すぎる。種目に特化したグラウンドに転換すべき。
- ・合併に際し行政主導で行われていたスポーツ協会が支部を作らず解散してしまったことが今日のスポーツ衰退の大きな原因に思われる。
- ・長い歴史の中で育て築き上げてきたスポーツの環境が廃れることのないよう地

域の活性化にも生かし区域外の利用者の方にもより利用してもらい、発展への掛け橋につなげたい。

- ・旧町村単位でのスポーツが多く色南町全体でやって行くにはまだまだのような気がする。町民一体で早く出来るようにして行くことが出来る助言があればお願いしたい。
- ・行政の財政難によりスポーツ振興事業にも多大な影響を受けています。国民の健康のために何とか事業を多く取り入れてほしい。
- ・総合型地域スポーツクラブや、地域の諸国体はがんばっていますが、国の努力は全く感じられない。そこを解決しなければよりよいスポーツ空間は生まれなれないと思う。
- ・市内に総合施設が出来て欲しい。
- ・市民に現在活動しているスポーツの種類や支援者が解るといいと思う。誰でも気軽にどこでも、いつでも、楽しく、無理せずに体を動かすチャンスがあればいいと思う。道具も無い。

#### ○合併形態無回答者の自由記述

- ・人口の少ない山間地域では、「ソフト面」（特に行政の関わり、人的資源、金銭補助など）のあり方を都市部と同一の尺度、考え方で進めても定着しないと考えます。今回のアンケートの意義は否定するものではありませんが、アンケートの「平均値」だけを持って、すべての地域のスポーツの振興方向を一本化、統一することの無いようにご配慮いただきたい。
- ・育児中の母親が参加できるようなスポーツ環境がほしい（託児付）。気軽に誰もが施設に行くとスポーツができる環境を整えてほしい。学校開放ばかりで、一般市民が屋内でスポーツができる場所がない。
- ・身近に体育施設があるとよいのですが。
- ・施設不足（学校施設の利用の仕方）地域の者が利用しにくい。月謝をとって行うスポーツ指導者（学区外の者）申し込みが有り、学区内の方が利用しにくくなっている。この様なスポーツ団体については体育館及びアリーナの様な施設を使用してもらえると有り難いと思う。

註 一定の場所、団体が特定されるもの等については修正、削除した。

平成 20 年 3 月 5 日印刷  
平成 20 年 3 月 10 日発行  
(非 売 品)

発行責任者 服 部 宏 治  
〒739-2695  
東広島市黒瀬学園台 555-36  
広島国際大学 保健医療学部  
Tel&Fax0823-70-4672  
E-mail:k-hatto@hs.hirokoku-u.ac.jp

印 刷 所 三原プリント株式会社  
〒723-0041  
広島県三原市和田 1 丁目 5 - 1 3  
Tel 0848-64-1643 Fax 0848-64-5743  
E-mail:mihara\_print@ybb.ne.jp